

道府県名	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
		円	円	円	円	円
(231) 北海道	爾志郡乙部村鳥山 頭首工36年災害復 旧	4,013,000	3,365,590	3,108,450	353,000	296,050 (257,140)
	井ぜき延長24メートルの復旧にあたり、えん体および擁壁等411立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので施行しそのつき固めも不十分であったため工事費353,000円相当額が出来高不足となっている。					
計		38,800,304	24,769,075	23,990,383	7,828,980	5,402,825 (778,692)

(232) 青森県

八戸市八戸漁港修 築	青森県	43,652,768	21,826,384	21,826,384	1,604,692	802,346
岸壁延長149メートルの新設にあたり、うち延長130メートルは長さ10メートル、高さ6.5メートル、幅4.5メートルのかん塊13個をすえ付けるもので、このうち8個は岩盤645立米を掘さくのうちすえ付けを終り、残りの5個は硬土上にすえ付けることとし、うち2個をすえ付けたものであるが、前記岩盤はきわめて硬質のものであるから、これをことさら平均96センチメートルも掘さくして同一高さのかん塊をすえ付ける必要はなく、また、岩盤線の状況も設計当時判明していたものであるから、岩盤の掘さくを少なくし、かん塊の高さも岩盤線に応じて決定すべきであったと認められる。いま、仮にかん塊8個のうち5個を1メートル、3個を50センチメートルそれぞれ低く製作し、これをすえ付けるに必要な岩盤掘さく440立米を施行したとすれば工事費1,604,692円相当額を節減することができた計算である。						

(233) 同

東津軽郡今別町浜 名地区海岸堤防35 年災害復旧	青森県	3,913,000	2,754,752	2,754,752	437,000	307,648
堤とう延長91メートルの復旧にあたり、コンクリートブロック護岸191平米は胴裏込をかき込砂利で平米当り0.22立米総量42立米施行したこととしているが、実際は胴裏込の施行が粗雑であったばかりでなく、氷雪の混入したもので半量程度の21立米を施行したにすぎず、すでに延長18メートルは崩壊し、その両側もき裂を生じている状況である。						

道府県名	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
		円	円	円	円	円
(234) 青森県	青森市大別内頭首 工35年災害復旧	1,415,000	919,750	919,750	560,000	364,000
	井ぜき延長65メートルの復旧にあたり、えん体315立米は配合比3:7の玉石コンクリートで、また、分水路の底版コンクリート16立米および左岸練積石垣122平米の胴込コンクリート12立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際はコンクリートはいずれも粗悪な骨材を使用した配合の悪いもので施行しているばかりでなく、つき固めも不十分であったため、えん体は内部に空けきを生じているなど、その強度が著しく低下している。					

(235) 同

上北郡野辺地町城 内頭首工36年災害 復旧	野辺地町	1,057,000	687,050	687,050	572,000	371,800
井ぜき延長15メートルの復旧にあたり、水路根固め擁壁延長67メートルは硬土125立米を掘さくし、配合比1:3:6のコンクリート80立米を施行したこととしているが、実際は硬土の掘さくは70立米を施行しただけで、コンクリートは配合の悪い粗悪なものに玉石を多量に混入して63立米を施行したにすぎないばかりでなく、つき固めもきわめて不十分であったため内部に空けきを生じ、すでに各所から漏水している状況である。						

(236) 同

北津軽郡金木町大 口堰頭首工35年災 害復旧	金木町	4,812,000	3,127,800	3,127,800	1,881,000	1,222,650
井ぜき延長77メートルの復旧にあたり、えん体188立米は配合比4:6の玉石コンクリートで、また、護岸擁壁118立米は配合比1:2:4の鉄筋コンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートはいずれも現場付近で採取した粗悪な砂利を使用した配合の悪いもので施行しているばかりでなく、そのつき固めも不十分であったためえん体および擁壁は内部に空けきを生じ、すでに通水している状況である。						

(237) 同

南津軽郡大鰐町下 道堰頭首工35年災 害復旧	大鰐町	1,305,000	991,800	991,800	681,000	517,560
------------------------------	-----	-----------	---------	---------	---------	---------

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

井げき延長10メートルの復旧にあたり、えん体および水たたき64立米は配合比1:3:6のコンクリートで、また、護岸擁壁78立米は配合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はえん体および水たたきは配合の悪い粗悪なコンクリートに玉石を多量に混入して施行しており、水たたきはコンクリートのつき固めもきわめて不十分であったため、容易に破砕される状況であり、また、護岸擁壁は配合の悪い粗悪なコンクリートに玉石を多量に使用し、コンクリートのつき固めも不十分であったため、すでに各所から漏水している状況である。

(238) 青 森 県

南津軽郡大鰐町惣次郎水路35年災害復旧	大鰐町	5,698,000	4,330,480	3,718,489	364,000	276,640 (276,640)
---------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	----------------------

水路延長460メートルの復旧にあたり、護岸擁壁745立米は配合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なコンクリートに玉石を多量に使用して施行したにすぎず、工事費364,000円相当額が出来高不足となっている。

(239) 同

南津軽郡大鰐町高田頭首工35年災害復旧	大鰐町	723,000	549,480	549,480	344,000	261,440
---------------------	-----	---------	---------	---------	---------	---------

井げき延長8メートルの復旧にあたり、えん体25立米は配合比1:3:6のコンクリートで、護岸擁壁27立米は配合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートはいずれも配合の悪い粗悪なもので施行しているばかりでなく、そのつき固めもきわめて不十分であったため、すでに各所から漏水している状況である。

(240) 同

南津軽郡大鰐町第3駒木沢頭首工35年災害復旧	大鰐町	652,000	495,520	495,520	446,000	338,960
------------------------	-----	---------	---------	---------	---------	---------

井げき延長4メートルの復旧にあたり、えん体および水たたき17立米、護岸擁壁38立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はいずれも配合の悪い粗悪なもので施行しており、水たたきはそのつき固めもきわめて不十分

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

であったため容易に破砕される状況であり、また、護岸擁壁は玉石を多量に混入し、コンクリートのつき固めもきわめて不十分であったため、すでに各所から漏水している状況である。

(241) 青 森 県

南津軽郡大鰐町山忠水路35年災害復旧	大鰐町	1,708,000	1,298,080	1,298,080	409,000	310,840
--------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長275メートルの復旧にあたり、護岸擁壁54立米は配合比2:8の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートは現場付近で採取した粗悪な骨材を使用した配合の悪いもので施行しており、かつ、玉石を多量に使用し玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設しているため、すでに各所から漏水している状況である。

計		64,935,768	36,981,096	36,369,105	7,298,692	4,773,884 (276,640)
---	--	------------	------------	------------	-----------	------------------------

(242) 岩 手 県

大船渡市大船渡漁港津波対策	岩手県	42,000,000	28,000,000	28,000,000	1,243,000	828,666
---------------	-----	------------	------------	------------	-----------	---------

防波堤延長94メートルの新設にあたり、防波堤の基礎は捨石6,930立米、被覆石1,080立米、同張立て1,801平米を施行したこととしているが、実際は捨石6,549立米、被覆石1,005立米、張立て1,609平米程度を施行したにすぎず、工事費1,243,000円相当額が出来高不足となっている。

(243) 同

気仙郡三陸村綾里漁港修築	岩手県	12,920,000	5,168,000	5,168,000	721,000	288,400
--------------	-----	------------	-----------	-----------	---------	---------

防波堤延長60メートルの新設にあたり、防波堤の基礎は捨石1,993立米、被覆石224立米、同張立て373平米を施行したこととしているが、実際は捨石1,944立米、被覆石114立米、張立て190平米程度を施行したにすぎないなどのため工事費721,000円相当額が出来高不足となっている。

(244) 同

九戸郡種市町種市漁港35年災害復旧	種市町	4,250,000	3,570,000	3,570,000	803,000	674,520
-------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

防波堤延長100メートルの復旧にあたり、堤体の水中コンクリート58立米は岩盤50

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

立米を掘さくのうち両側部を50センチメートル総量30立米根入れして施行したとして
しているが、実際は岩盤掘さくを全く施行せず、水中コンクリートは28立米程度
を施行したにすぎないばかりでなく打設がきわめて粗雑であったため、すでに堤体の
下部は著しく洗掘されている状況である。

(245) 岩手県

九戸郡野田村下安 家漁港33年災害復 旧	野田村	2,850,000	2,684,700	2,684,700	371,000	349,482
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

防波堤延長15メートルの復旧にあたり、堤体根固めは配合比1:3:6の6トンテ
トラボット148個で施行したこととしているが、実際はうち20個は養生が不十分で
しかもすえ付けが粗雑であったためすでに著しく破損している状況である。

計		62,020,000	39,422,700	39,422,700	3,188,000	2,141,068
---	--	------------	------------	------------	-----------	-----------

(246) 宮城県

本吉郡志津川町折 立漁港35年災害復 旧	志津川町	6,481,480	5,698,433	5,392,057	445,000	391,237 (306,376)
----------------------------	------	-----------	-----------	-----------	---------	----------------------

防潮堤延長89メートルの復旧にあたり、堤体の裏込ぐり石は径15センチメートル内
外のものを使用し1,166立米を施行したこととしているが、実際はうち3分の1程度
の389立米は風化した軟弱なものや岩くずまたは規格外の著しく大きなものを使用し
施行しており、工事費445,000円相当額が出来高不足となっている。

(247) 秋田県

本荘市押田地内36 年発生災害荒廃地 復旧	秋田県	1,023,000	682,000	682,000	1,023,000	682,000
-----------------------------	-----	-----------	---------	---------	-----------	---------

えん堤の新設にあたり、本えん堤103立米および前えん堤24立米は配合比1:3:6
のコンクリートで施行したこととしているが、実際は両えん堤とも現場付近で採取し
た軟質の粗石を多量に使用して粗石の層と粗悪なコンクリートの層とに分離して打設
し、これをそれぞれ厚さ30センチメートルおよび20センチメートル程度の配合の悪
い粗悪なコンクリート49立米および13立米で被覆したにすぎず、えん堤としての強
度が著しく低下している。

(248) 同

山本郡八森町椿 (八森)漁港35年災 害復旧	八森町	1,425,000	950,475	950,475	327,000	218,109
------------------------------	-----	-----------	---------	---------	---------	---------

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

護岸延長65メートルの復旧にあたり、擁壁209立米は配合比1:3:6のコンクリ
ートで施行したこととしているが、実際はうち延長45メートル82立米は配合の悪い粗
悪なもので施行しそのつき固めも不十分であったためコンクリートとしての強度が著
しく低下している。

(249) 秋田県

山本郡藤里村上逆 巻頭首工36年災害 復旧	藤里村	3,039,000	1,975,350	1,943,500	490,000	318,500 (31,850)
-----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------------------

井げき延長83メートルの復旧にあたり、えん堤252立米および水たたき92立米は配
合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はえん堤のうち延長
34メートル55立米は配合の悪い粗悪なコンクリートで施行しそのつき固めも不十分
であったため、すでに各所が洗掘されており、また、水たたきは配合の悪いきわめて粗
悪なコンクリートに玉石を多量に使用し、その配列も粗雑で、コンクリートのつき固め
も不十分であったため、一部はすでに摩耗洗掘され内部を通水している状況である。

計		5,487,000	3,607,825	3,575,975	1,840,000	1,218,609 (31,850)
---	--	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------------------

(250) 栃木県

塩谷郡栗山村湯西 川地内崩壊地復旧	栃木県	1,435,449	956,966	956,966	1,435,449	956,966
----------------------	-----	-----------	---------	---------	-----------	---------

えん堤延長20メートルの新設にあたり、えん堤209立米は配合比6:4の玉石コンク
リートで施行したこととしているが、実際は玉石を多量に使用し、コンクリートはか
き込砂利を使用した配合の悪い粗悪なもので施行し、つき固めも不十分であったため
えん堤内部に空げきを生じており、すでに各所から漏水している状況である。

(251) 同

下都賀郡壬生町藤 井頭首工33年災害 復旧	受益者共同 施行	2,235,000	1,452,500	1,452,500	789,000	512,850
-----------------------------	-------------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

井げき延長46メートルの復旧にあたり、その堤体である木工沈床の張石524平米は
控30センチメートルの雑割石で施行したこととしているが、実際は偏平な大割石を
敷き並べただけで張立てを施行していないためすでにその一部は流失しており、また、
付帯護岸の練積石垣229平米は控30センチメートルの雑割石を使用し、胴裏込コン
クリートは配合比1:3:6で平米当り0.08立米総量18立米を施行したこととしている
が、実際は石積みの施行がきわめて粗雑となっているばかりでなく胴裏込コンクリ

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

トは配合の悪い粗悪なもので施行しそのつき固めも不十分であったためコンクリートとしての強度が著しく低下しており、築石が容易に抜き取られる状況である。

(252) 栃木県

那須郡馬頭町仲の内頭首工36年災害復旧	馬頭町	1,056,000	929,280	929,280	251,000	220,880
---------------------	-----	-----------	---------	---------	---------	---------

井ぞき延長8メートルの復旧にあたり、えん体21立米および水たたき22立米は配合比1:3:6のコンクリートで、また、付帯護岸延長30メートルは基礎コンクリート32立米の上部に擁壁119立米を配合比5:5の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はえん体および水たたきは配合の悪い粗悪なコンクリートで施行しているばかりでなく、水たたきは16立米程度を施行したにすぎず、また、付帯護岸は基礎コンクリートを全く施行せず、擁壁も粗悪なコンクリートに玉石を多量に混入して施行したにすぎないため、工事費251,000円相当額が出来高不足となっている。

計		4,726,449	3,338,746	3,338,746	2,475,449	1,690,696
---	--	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

(253) 群馬県

藤岡市林道名無村馬坂線開設	群馬県	4,864,000	1,945,600	1,945,600	761,879	304,751
---------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

林道延長257メートルの開設にあたり、第2号橋りょう延長14メートルの橋台は配合比6:4の玉石コンクリート95立米を配合比1:3:6のコンクリート厚さ10センチメートル総量18立米で被覆し、また、橋台そでコンクリートは配合比1:3:6で8立米を施行したこととしているが、実際はいずれも配合の悪い粗悪なコンクリートで施行し、かつ、橋台の玉石コンクリートは玉石を多量に使用し、コンクリートのつき固めも不十分であったため玉石コンクリートとしての強度が著しく低下しており、すでに漏水している状況である。

(254) 同

甘楽郡南牧村林道馬坂線開設	群馬県	5,510,000	2,755,000	2,755,000	479,314	239,657
---------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

林道延長313メートルの開設にあたり、砂止めえん堤延長17メートルのえん体は配合比6:4の玉石コンクリート82立米を配合比1:3:6のコンクリート厚さ10センチメートル総量11立米で被覆したこととしているが、実際はいずれも配合の悪い粗悪なコンクリートで施行し、かつ、玉石コンクリートは玉石を多量に使用しコンクリートの

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

つき固めもきわめて不十分であったためえん体内部に多くの空けきを生じており、玉石コンクリートとしての強度が著しく低下している。

計		10,374,000	4,700,600	4,700,600	1,241,193	544,408
---	--	------------	-----------	-----------	-----------	---------

(255) 千葉県

勝浦市大沢漁港修築	勝浦市	13,410,000	4,470,000	4,470,000	1,819,787	606,595
-----------	-----	------------	-----------	-----------	-----------	---------

船揚場および波除堤等の新設にあたり、船揚場延長29メートルの張りコンクリートは厚さ20センチメートル総量137立米を配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は配合の悪いきわめて粗悪なコンクリートで施行したため、すでに各所にき裂を生じその一部は流失しており、また、波除堤延長20メートルの堤体は下部49立米を立米当りセメント390キログラム使用のコンクリートで、上部63立米を配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はいずれも配合の悪い粗悪なコンクリートでその打設も粗雑となっているため、すでに下部は全線にわたり著しく洗掘され、倒壊のおそれがある状況である。

(256) 同

安房郡千倉町七浦漁港修築	千葉県	11,570,000	4,628,000	4,628,000	1,310,488	524,195
--------------	-----	------------	-----------	-----------	-----------	---------

物揚場等の新設にあたり、第2号物揚場延長116メートルの前壁コンクリートは厚さ30センチメートルで総量251立米を、また、天ば舗装コンクリートは厚さ20センチメートルで総量242立米をいずれも配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は前壁コンクリートは厚さ25センチメートル程度で総量215立米を、天ば舗装コンクリートは配合の悪い粗悪なもので平均厚さ15センチメートル程度で総量205立米を施行したにすぎない。また、第1号、第2号両物揚場のけい船柱基礎コンクリートはぐり石厚さ30センチメートル総量19立米の上部に高さ幅とも1.5メートル総量77立米を配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は基礎ぐり石は全く施行せず、コンクリートは配合の悪い粗悪なものに土砂混りの雑石を投入し高さ1メートル、幅90センチメートル程度で総量40立米を施行したにすぎず、けい船柱基礎としての効果が著しく減殺されている。

計		24,980,000	9,098,000	9,098,000	3,130,275	1,130,790
---	--	------------	-----------	-----------	-----------	-----------

(257) 神奈川県

小田原市小田原漁港修築	神奈川県	99,259,890	39,703,956	39,703,956	3,796,000	1,518,400
-------------	------	------------	------------	------------	-----------	-----------

道府県名	工 事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

港内掘さくおよび物揚場護岸等の新設にあたり、物揚場護岸延長190メートルの基礎および裏込のぐり石3,583立米はすべて真鶴産のものを使用することとし、立米当り1,230円または1,450円総額5,194,878円を計上しているが、港内掘さく土砂47,374立米に多量のぐり石が混入していることは設計当時すでに判明していたのであるから掘さく土砂から発生するぐり石を採取流用すべきであるのに、これを運搬捨土することとしているのは工事の設計当を得ないものと認められる。いま、仮に掘さく土砂から発生するぐり石を採取流用したとすれば、立米当り559円総額で2,003,232円となり、前記5,194,878円に比べて工事費3,796,000円相当額を節減することができた計算である。

(258) 神奈川県

愛甲郡清川村林道 本谷線34年災害復 旧	神奈川県	772,863	695,576	695,576	385,000	346,500
----------------------------	------	---------	---------	---------	---------	---------

林道延長23メートルの復旧にあたり、コンクリート擁壁延長15メートルは配合比5:5の玉石コンクリート30立米を配合比1:3:6のコンクリート厚さ10センチメートル総量11立米で被覆したこととしているが、実際は粗石25立米を中詰めとし、これをコンクリート厚さ15センチメートル程度総量17立米で被覆したにすぎず、コンクリート擁壁としての強度が著しく低下している。

(259) 同

横須賀市佐島漁港 海岸保全	横須賀市	20,245,034	10,122,517	10,122,517	6,502,537	3,251,268
------------------	------	------------	------------	------------	-----------	-----------

護岸延長226メートルの新設にあたり、護岸の根固めは1個当り500キログラム内外の割石1,761立米を2メートルの厚さで捨て込みその表面1,028平米を張り立てたこととしているが、実際は捨石は規格外の小さな割石を多量に混入し厚さ1.4メートル程度で総量1,143立米を施行したにすぎないばかりでなく、張立ても著しく粗雑で、根固めとしての効果が著しく減殺されている。

計		120,277,787	50,522,049	50,522,049	10,683,537	5,116,168
---	--	-------------	------------	------------	------------	-----------

(260) 新潟県

糸魚川市浦本漁港 36年災害復旧	新潟県	19,887,479	13,264,948	13,264,948	809,019	539,615
---------------------	-----	------------	------------	------------	---------	---------

護岸延長120メートルの復旧にあたり、擁壁1,115立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はうち14メートルの擁壁129立米は配合の

道府県名	工 事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

悪いきわめて粗悪なもので施行し、そのつき固めも不十分であったため骨材が分離し、砂利だけの層を生じている状況で、コンクリートとしての強度が著しく低下している。

(261) 新潟県

両津市鷺崎漁港 築	新潟県	41,092,328	41,092,328	37,042,164	959,000	959,000 (959,000)
--------------	-----	------------	------------	------------	---------	----------------------

防波堤延長125メートルの新設にあたり、堤体の基礎は捨石4,114立米を2トン内外の割石厚さ1メートル総量1,282立米で被覆し、間詰石128立米を施行したこととしているが、実際は捨石4,370立米、間詰石153立米を施行し、被覆石は厚さ80センチメートル程度で総量769立米を施行したにすぎず、工事費959,000円相当額が出来高不足となっている。

(262) 同

佐渡郡相川町林道 入川線開設	新潟県	11,914,877	7,148,926	7,148,926	4,184,422	2,510,653
-------------------	-----	------------	-----------	-----------	-----------	-----------

林道延長613メートルの開設にあたり、路側擁壁563立米は立米当りセメント170キログラム使いのコンクリートで施行したこととしているが、実際はぐり石421立米を中詰めとし、これをコンクリート厚さ10センチメートルから20センチメートル程度総量142立米で被覆したにすぎず、擁壁としての強度が著しく低下している。

(263) 同

西頸城郡能生町能生 漁港35年災害復旧	新潟県	5,058,000	3,373,686	3,373,686	440,752	293,981
------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

防波堤延長24メートルの復旧にあたり、根固めテトラポット73個は障害物269立米を除去してすえ付けたこととしているが、実際は障害物95立米を除去したにすぎないばかりでなく、テトラポットのすえ付けが粗雑でそのかみ合せが不十分であったため、すでに一部は散乱している状況である。

(264) 同

糸魚川市東側用水 路34年災害復旧	糸魚川市	37,114,000	24,122,740	24,122,740	1,429,000	928,850
----------------------	------	------------	------------	------------	-----------	---------

水路延長1,900メートルの復旧にあたり、延長251メートルの三面張りコンクリート128立米および練積石垣277平米の胴込コンクリート28立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は三面張り水路は水洗いの不十分な骨材を使用した配

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

合の悪いきわめて粗悪なコンクリートで施行しているばかりでなく、つき固めも不十分であったためコンクリートとしての強度が著しく低下しており、すでに一部にき裂を生じている状況であり、また、練積石垣の胴込コンクリートはほとんど施行していない。

(265) 新潟県

十日町市三ツ山頭 首工35年災害復 旧	十日町市	1,105,000	718,250	718,250	774,000	503,100
---------------------------	------	-----------	---------	---------	---------	---------

井ぞき延長14メートルの復旧にあたり、えん体98立米および水たたき38立米は配合比4:6の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はえん体は玉石および岩くず50立米を申請めとし、これを配合比1:3:6のコンクリート厚さ20センチメートル程度総量47立米で被覆したにすぎず、また、水たたきは玉石および岩くず27立米を敷き並べ、その表面をコンクリート厚さ20センチメートル程度総量10立米で被覆したにすぎず、いずれもその強度が著しく低下している。

(266) 同

糸魚川市根小屋水 路34年災害復旧ほ か1	受益者共同 施行	3,654,000	2,108,000	2,108,000	642,000	417,300
-----------------------------	-------------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長835メートルおよび農地55.3反の復旧にあたり、水路護岸練積石垣1,052平米の胴込コンクリートは平米当り0.1立米総量105立米を施行したこととしているが、実際は胴込コンクリートはほとんど施行していないなどのため工事費642,000円相当額が出来高不足となっている。なお、工事は3,080,189円で施行しており、事業主体はその負担したとしている1,546,000円のうち573,811円を負担していない。

(267) 同

北魚沼郡川口町木 沢頭首工36年災害 復旧	川口町	1,534,000	1,267,605	1,267,605	1,534,000	1,267,605
-----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

井ぞき延長19メートルの復旧にあたり、えん体121立米のうち下部96立米は配合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際は現場付近で採取した転石および土砂81立米を申請めとし、これをコンクリート厚さ10センチメートル程度総量15立米で被覆したにすぎず、すでに各所から漏水しているばかりでなく、申請めの土砂が流失し内部に空洞を生じている状況である。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

(268) 新潟県

佐渡郡相川町下相 川地区急傾斜地帯 農道	受益者共同 施行	3,697,000	1,109,000	1,109,000	1,067,000	320,100
----------------------------	-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------

農道延長1,499メートルの開設にあたり、切土5,245立米、盛土3,339立米、敷砂利267立米を施行し、練積石垣は154平米を控35センチメートルの雑割石を使用し、胴込コンクリート平米当り0.12立米総量18立米で施行したこととしているが、実際は路線を変更し切土3,739立米、盛土1,965立米、敷砂利180立米、練積石垣85平米を施行したにすぎず、また、練積石垣は控30センチメートル程度の雑割石を使用し、胴込コンクリートはほとんど施行していないため、築石が容易に抜き取られる状況である。

(269) 同

中頸郡清里村大 倉江土地改良	坊ヶ池土地 改良区	3,312,000	1,324,000	1,324,000	628,000	251,200
-------------------	--------------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長1,141メートルの新設にあたり、練積石垣1,695平米の胴込コンクリートは配合比1:3:6で平米当り0.1立米総量169立米、目地モルタルは配合比1:3で平米当り0.02立米総量33立米を施行したこととしているが、実際は胴込コンクリートはうち401平米はほとんど施行しておらず、1,290平米は配合の悪い粗悪なもので3分の2程度の90立米を施行したにすぎず、また、目地モルタルはきわめて粗悪なもので施行したにすぎないなどのため、工事費628,000円相当額が出来高不足となっている。

(270) 同

三島郡寺泊町年友 溜池36年災害復旧	寺泊町	734,000	477,100	477,100	734,000	477,100
-----------------------	-----	---------	---------	---------	---------	---------

堤とら延長19メートルの復旧にあたり、堤体盛土ははがね土190立米、さや土983立米を施行したこととしているが、実際ははがね土は全く施行していないばかりでなく、さや土はつき固めを行なうことなく木根等を混入したもので施行しているため、すでに堤体から漏水している状況である。

(271) 同

三島郡寺泊町礒田 溜池36年災害復旧	寺泊町	521,000	338,650	338,650	521,000	338,650
-----------------------	-----	---------	---------	---------	---------	---------

堤とら延長16メートルの復旧にあたり、堤体盛土ははがね土100立米、さや土406立米を施行したこととしているが、実際ははがね土は全く施行していないばかりでな

道府県名	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち87年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
		円	円	円	円	円

く、さや土はつき固めを行なうことなく木根等を混入したもので施行しているため、すでに堤体下部はうんでいる状況であり、また、余水吐け 11 立米は配合比 1 : 2 : 4 の鉄筋コンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートは粗悪な骨材を使用した配合の悪いもので 9 立米を施行したにすぎず、その強度が著しく低下している。

計 129,623,684 96,345,233 92,295,069 13,722,193 8,807,154 (959,000)

(272) 石川 県

七尾市江泊海岸堤防34年災害復旧 石川 県 7,617,000 6,862,917 6,862,917 295,955 266,655

堤防延長 188 メートルの復旧にあたり、擁壁く体 502 立米は配合比 3 : 7 の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はうち延長 20 メートル 57 立米は玉石を多量に使用しているばかりでなく、コンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空けきを生じており、玉石コンクリートとしての強度が著しく低下している。

(273) 同

石川郡鳥越村三ツ瀬地内36年発生災害荒廃地復旧 石川 県 1,650,000 1,100,000 1,100,000 1,650,000 1,100,000

えん堤延長 25 メートルの新設にあたり、えん体 256 立米は配合比 6 : 4 の玉石コンクリート 217 立米を配合比 1 : 3 : 6 のコンクリート 38 立米で被覆したこととしているが、実際は玉石 194 立米を中詰めとし、これをコンクリート厚さ 15 センチメートルから 20 センチメートル程度総量 61 立米で被覆したにすぎず、えん体としての強度が著しく低下している。

(274) 同

鳳至郡門前町阿岸川水路34年災害復旧 石川 県 52,177,000 48,437,150 48,437,150 1,328,000 1,240,906

水路延長 1,013 メートルの復旧にあたり、コンクリートブロック練積石垣 4,262 平米の胴込コンクリートは配合比 1 : 3 : 6 で平米当り 0.22 立米総量 974 立米を施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので 3 分の 2 程度の 649 立米を施行したにすぎず、工事費 1,328,000 円相当額が出来高不足となっている。

道府県名	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち87年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
		円	円	円	円	円

(275) 石川 県

輪島市稲屋町西側水路34年災害復旧 輪島 市 6,345,000 5,557,000 5,247,000 230,000 202,800 (202,800)

水路延長 548 メートルの復旧にあたり、コンクリートブロック練積石垣 1,871 平米の胴込コンクリートは配合比 1 : 3 : 6 で平米当り 0.16 立米総量 299 立米を施行したこととしているが、実際はうち 1,637 平米の胴込コンクリート 262 立米は配合の悪い粗悪なもので施行したにすぎず、工事費 230,000 円相当額が出来高不足となっている。

(276) 同

輪島市稲屋町東側水路34年災害復旧 輪島 市 5,059,212 4,553,290 4,553,290 556,000 500,400

水路延長 387 メートルの復旧にあたり、コンクリートブロック練積石垣 570 平米の胴込コンクリートは配合比 1 : 3 : 6 で平米当り 0.16 立米総量 91 立米を施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので半量程度の 45 立米を施行したにすぎないなどのため工事費 556,000 円相当額が出来高不足となっている。

(277) 同

鳳至郡穴水町沖波漁港34年災害復旧 穴水 町 2,252,000 2,125,888 2,021,104 213,000 201,072 (104,784)

護岸延長 94 メートルの復旧にあたり、練積石垣 542 平米の胴込コンクリートは平米当り 0.18 立米総量 97 立米を施行したこととしているが、実際は平米当り 0.12 立米程度総量 65 立米を施行したにすぎず、工事費 213,000 円相当額が出来高不足となっている。

(278) 同

鳳至郡穴水町丸山向水路34年災害復旧 穴水 町 4,500,000 4,050,000 4,050,000 1,094,000 984,600

水路延長 358 メートルの復旧にあたり、コンクリートブロック練積石垣 1,029 平米の胴込コンクリートは平米当り 0.14 立米総量 146 立米を施行したこととしているが、実際はほとんど施行せず胴込部分にぐり石を充てんしたにすぎないため工事費 1,094,000 円相当額が出来高不足となっている。

(279) 同

鳳至郡能都町鶴川漁港34年災害復旧 能都 町 16,062,005 15,451,647 15,451,647 400,000 384,800

護岸延長 369 メートルの復旧にあたり、練積石垣 896 平米の胴込コンクリートは平米

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

当り0.18立米総量161立米を施行したこととしているが、実際は平米当り0.12立米程度総量107立米を施行したにすぎないなどのため工事費400,000円相当額が出来高不足となっている。

(280) 石川 県

鳳至郡能都町谷内 川水路34年災害復 旧	能 都 町	1,071,000	963,900	963,900	320,000	288,000
----------------------------	-------	-----------	---------	---------	---------	---------

水路延長90メートルの復旧にあたり、三面張り水路の底張りコンクリートは配合比1:3:6で厚さ30センチメートル総量47立米を施行したこととしているが、実際はコンクリートは配合の悪い粗悪なもので施行し、そのつき固めも不十分であったためコンクリートとしての強度が低下しており、すでに裏面が洗掘され基礎ぐり石との間に空けきを生じている状況である。

(281) 同

鳳至郡門前町勝谷 水路34年災害復旧	門 前 町	10,952,000	10,404,400	10,404,400	741,000	703,950
-----------------------	-------	------------	------------	------------	---------	---------

水路延長777メートルの復旧にあたり、コンクリートブロック練積石垣2,357平米の胴込コンクリートは平米当り0.22立米総量525立米を施行したこととしているが、実際はうち延長15メートル28平米はほとんど施行せず、残りの2,328平米は平米当り0.11立米または0.17立米程度総量412立米を施行したにすぎないため、工事費741,000円相当額が出来高不足となっている。

(282) 同

鳳至郡門前町二又 水路34年災害復旧	門 前 町	20,940,000	19,892,850	19,892,850	1,679,000	1,595,050
-----------------------	-------	------------	------------	------------	-----------	-----------

水路延長992メートルの復旧にあたり、コンクリートブロック練積石垣3,618平米の胴込コンクリート771立米、基礎コンクリート193立米、落差工のコンクリート341立米はいずれも配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は胴込コンクリートおよび基礎コンクリートは配合の悪い粗悪なもので施行しているばかりでなく、胴込コンクリートは総量708立米程度を施行したにすぎず、また、落差工のコンクリートは玉石を多量に混入しているため、工事費1,679,000円相当額が出来高不足となっている。

計		128,625,217	119,399,042	118,984,258	8,506,955	7,468,233 (307,584)
---	--	-------------	-------------	-------------	-----------	------------------------

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

(283) 山 梨 県

大月市桑西頭首工 34年災害復旧	大 月 市	1,514,000	1,362,600	1,362,600	1,249,000	1,124,100
---------------------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

井ぞき延長20メートルの復旧にあたり、えん体245立米は配合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際は粗石138立米を中詰めとし、これを配合比1:3:6のコンクリート厚さ30センチメートル程度総量107立米で被覆したにすぎず、えん体としての強度が著しく低下しており、すでにえん体内部に通水している状況である。

(284) 同

南巨摩郡中富町古 長谷水路34年災害 復旧	中 富 町	3,966,000	3,569,400	3,569,400	349,000	314,100
-----------------------------	-------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長215メートルの復旧にあたり、練積石垣832平米の胴込コンクリートは平米当り0.17立米総量141立米を施行したこととしているが、実際は平米当り0.11立米程度総量91立米を施行したにすぎないなどのため工事費349,000円相当額が出来高不足となっている。

(285) 同

南巨摩郡身延町帯 金水路34年災害復 旧	身 延 町	5,899,000	5,309,100	5,309,100	642,642	578,377
----------------------------	-------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長2,591メートルの復旧にあたり、うち延長488メートルの三面張りコンクリート93立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は配合の悪いきわめて粗悪なもので施行しているばかりでなく、そのつき固めも不十分であったため骨材が分離し、コンクリートとしての強度が著しく低下している。

計		11,379,000	10,241,100	10,241,100	2,240,642	2,016,577
---	--	------------	------------	------------	-----------	-----------

(286) 長 野 県

松本市三城第2地 区農道34年災害復 旧	松 本 市	1,403,000	1,262,700	1,262,700	452,000	406,800
----------------------------	-------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

農道延長85メートルの復旧にあたり、路側練積石垣の基礎コンクリート46立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は玉石を多量に混入しその配列も粗雑となっているばかりでなく、コンクリートのつき固めが不十分であったため、すでに洗掘されている状況である。

道府県名	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
工	事	費	円	円	円	円
(287)	長野県					
	下伊那郡清内路村 小黒川地区農道36 年災害復旧	清内路村	6,256,000	5,749,260	5,749,260	368,000
	農道延長445メートルの復旧にあたり、路側練積石垣997平米の胴込コンクリートは 平米当り0.2立米総量199立米を施行したこととしているが、実際は平米当り0.16立 米程度総量159立米を施行したにすぎないなどのため工事費368,000円相当額が出来 高不足などとなっている。					
(288)	同					
	小県郡青木村原水 路34年災害復旧	青木村	5,364,000	4,731,930	4,731,930	718,000
	水路延長530メートルの復旧にあたり、床止工、帯工、練積石垣の基礎玉石コンク リート総量412立米は配合比4:6で施行したこととしているが、実際は配合の悪い 粗悪なコンクリートに玉石を多量に使用して施行しており、また、練積石垣753平米 の胴込コンクリートは配合比1:3:6で平米当り0.1立米総量75立米を施行したこ ととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので平米当り0.07立米程度総量52立米 を施行したにすぎないなどのため、工事費718,000円相当額が出来高不足となっ ている。					
(289)	同					
	小県郡青木村曲尾 水路34年災害復旧 (1)	青木村	3,876,000	3,488,400	3,488,400	504,000
	水路延長240メートルの復旧にあたり、床止工、帯工、練積石垣の基礎玉石コンク リート総量235立米は配合比4:6で施行したこととしているが、実際は配合の悪い 粗悪なコンクリートに玉石を多量に使用して施行しており、また、練積石垣621平米 の胴込コンクリートは配合比1:3:6で平米当り0.1立米総量62立米を施行したこ ととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので平米当り0.07立米程度総量43立米を 施行したにすぎないなどのため、工事費504,000円相当額が出来高不足となっている。					
(290)	同					
	小県郡青木村曲尾 水路34年災害復旧 (2)	青木村	3,138,000	2,824,200	2,824,200	446,000
	水路延長220メートルの復旧にあたり、床止工、帯工、練積石垣の基礎玉石コンク					

道府県名	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
工	事	費	円	円	円	円
(291)	長野県					
	東筑摩郡坂北村押 頭首工34年災害復 旧	坂北村	2,427,000	2,184,300	2,184,300	581,000
	井ぞき延長10メートルの復旧にあたり、付帯水路延長62メートルの基礎擁壁は配合比 3:7の玉石コンクリートで高さ1.2メートル、上幅88センチメートル、下幅1.24メー トルで総量78立米を施行したこととしているが、実際は玉石35立米を申請めとし、 その前面を配合比1:3:6のコンクリート高さ1.05メートル、上幅、下幅とも50セ ンチメートル程度総量32立米で被覆したにすぎず、その強度が著しく低下している。					
(292)	同					
	南佐久郡南牧村袖 添水路34年災害復 旧	南牧村	4,583,000	4,096,000	4,096,000	531,000
	水路延長1,040メートルの復旧にあたり、練積石垣2,051平米の胴込コンクリートは 配合比1:3:6で平米当り0.15立米総量307立米を施行したこととしているが、実 際は配合の悪い粗悪なもので平米当り0.12立米程度総量246立米を施行したにすぎ ないなどのため工事費531,000円相当額が出来高不足などとなっている。					
	計		27,047,000	24,336,790	24,336,790	3,600,000
(293)	岐阜県					
	高山市荒垣内水路 35年災害復旧	高山市	1,268,000	824,200	824,200	422,333
	水路延長106メートルの復旧にあたり、練積石垣419平米の胴込コンクリートは配合 比1:3:6で平米当り0.17立米総量73立米を施行したこととしているが、実際は胴 込コンクリートは現場付近で採取した土砂を使用した配合のきわめて悪い粗悪なも ので平米当り0.12立米程度総量50立米を施行したにすぎず、築石が容易に抜き取られ る状況である。					

道府県名	工 事 事業主体	工 事 費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
		円	円	円	円	円
(294)	岐阜県 加茂郡八百津町篠 原水路34年災害復 旧	八百津町 1,425,000	1,282,500	1,282,500	275,000	247,500
	水路延長274メートルの復旧にあたり、練積石垣500平米のコンクリートは配合比1:3:6で平米当り0.18立米総量90立米を施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので平米当り0.1立米程度総量50立米を施行したにすぎず、工事費275,000円相当額が出来高不足となっている。					
(295)	同	益田郡馬瀬村教河 農道36年災害復旧	馬瀬村 1,838,000	1,572,370	1,572,370	338,637
	農道延長70メートルの復旧にあたり、路側練積石垣101平米の裏詰めは玉石コンクリートで厚さ80センチメートル総量73立米を施行したこととしているが、実際は下部73平米の裏詰めは厚さ20センチメートル程度総量26立米を施行したにすぎず、また、橋台の基礎は配合比5:5の玉石コンクリートで高さ4メートル、上幅1.1メートル、下幅1.5メートル総量32立米を施行したこととしているが、実際はぐり石17立米を中詰めとし、その前面を配合比5:5の玉石コンクリートおよび配合比1:3:6のコンクリート上幅、下幅とも40センチメートル程度総量15立米で被覆したにすぎず、いずれもその強度が著しく低下している。					
	計	4,531,000	3,679,070	3,679,070	1,093,179	860,653
(296)	静岡県	焼津市小川漁港修 築	静岡県 9,076,000	3,630,400	3,630,400	2,149,862
	防波堤延長10メートルの新設にあたり、堤体下部497立米はプレキャストコンクリートで施行したこととしているが、実際は型わくの施行が粗雑であったため、モルタルの一部が流失しコンクリートとしての強度が著しく低下しており、すでに型わくの継ぎ目部分に大きな空けきを生じているばかりでなく、とくに堤体の先端部は高さ4メートル、幅5メートル、深さ2メートル程度洗掘されている状況である。					
(297)	同	磐田郡福田町福田 漁港36年災害復旧	静岡県 8,906,049	5,940,334	5,940,334	426,213
	導流堤延長75メートルの復旧にあたり、堤体中詰めぐり石は1,561立米を施行した					

道府県名	工 事 事業主体	工 事 費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
		円	円	円	円	円
(298)	静岡県	賀茂郡東伊豆町稲 取漁港36年災害復 旧	静岡県 4,675,000	3,118,225	3,118,225	252,126
	防波堤延長40メートルの復旧にあたり、根固め被覆石は520立米を施行したこととしているが、実際は465立米を施行したにすぎず、工事費378,000円相当額が出来高不足となっている。					
(299)	同	榛原郡金谷町志戸 呂地内崩壊地復旧	静岡県 1,380,000	920,000	920,000	920,000
	えん堤1箇所および床固め2箇所の新設にあたり、えん体233立米はいずれも6:4の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際は玉石を多量に使用しその配列が粗雑となっているばかりでなくコンクリートのつき固めも不十分であったため内部に空けきを生じ、すでに通水している状況である。					
(300)	同	賀茂郡東伊豆町北 川漁港修築	東伊豆町 8,300,000	2,766,666	2,766,666	372,000
	護岸延長125メートルの新設にあたり、根固め被覆石の張立ては381平米を施行したこととしているが、実際はほとんど施行していないため工事費1,116,000円相当額が出来高不足となっている。					
(301)	同	賀茂郡東伊豆町奈 良本頭首工33年災 害復旧	東伊豆町 1,239,000	805,350	805,350	491,881
	井ぞき延長16メートルの復旧にあたり、えん体64立米および水たたき23立米は配合比1:4:8の捨てコンクリート15立米の上部に配合比5:5の玉石コンクリートで、また、護床練石張り51平米は捨てコンクリート10立米、配合比1:3:6の裏込コンクリート平米当り0.36立米総量18立米でそれぞれ施行したこととしているが、実際は捨てコンクリートは全く施行せず、コンクリートは配合の悪い粗悪なもので施行しているばかりでなく、えん体は玉石24立米を中詰めとしこれをぐり石を混入したコ					

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円
(310) 三重県							
	飯南郡飯高町平瀬 頭首工34年災害復 旧	飯高町	1,151,000	1,035,900	810,000	995,805	896,224 (225,900)
	井ぜき延長9メートルの復旧にあたり、えん体31立米および水路護岸擁壁133立米は配合比4:6の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はそれぞれ玉石24立米および111立米を中詰めとし、これを配合の悪い粗悪なコンクリート厚さ20センチメートルおよび5センチメートル程度総量6立米および21立米で被覆したにすぎず、その強度が著しく低下しており、護岸擁壁はすでに各所から漏水している状況である。						
(311) 同							
	飯南郡飯高町山口 頭首工34年災害復 旧	飯高町	665,000	598,500	450,000	665,000	598,500 (148,500)
	井ぜき延長32メートルの復旧にあたり、えん体120立米は配合比4:6の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際は玉石69立米を中詰めとし、これをコンクリート厚さ20センチメートル程度総量51立米で被覆したにすぎず、えん体としての強度が著しく低下している。						
(312) 同							
	一志郡壱野町林道 花園線34年災害復 旧	壱野町	10,248,000	9,101,200	9,101,200	418,000	371,000
	林道延長308メートルの復旧にあたり、路側擁壁1,088立米は配合比6:4の玉石コンクリートで、また、基礎コンクリート284立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際はうち延長158メートルの路側擁壁545立米は粗悪なコンクリートに玉石を多量に使用したもので施行しているばかりでなく、このうち118メートルの基礎コンクリート111立米も配合の悪い粗悪なもので施行したにすぎず、工事費418,000円相当額が出来高不足となっている。						
(313) 同							
	南牟婁郡紀和町御 厨池水路35年災害 復旧	紀和町	1,311,000	1,192,960	1,192,960	1,311,000	1,192,960

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円
(314) 三重県							
	度会郡紀勢町高岡 頭首工36年災害復 旧	紀勢町	500,000	405,500	405,500	395,784	320,980
	井ぜき延長16メートルの復旧にあたり、えん体86立米は配合比4:6の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートは粗悪な骨材を使用した配合の悪いもので施行しているばかりでなく、そのつき固めも不十分であったため内部に空げきを生じ、コンクリートとしての強度が著しく低下しており、すでに各所から漏水している状況である。						
計			31,177,732	28,645,351	27,277,951	7,314,698	6,593,740 (1,367,400)
(315) 京都府							
	舞鶴市下佐波賀海 岸堤防34年災害復 旧	舞鶴市	953,000	857,700	857,700	323,000	290,700
	堤防延長80メートルの復旧にあたり、堤体60立米は配合比3:7のぐり石コンクリートで施行したこととしているが、実際は下部34立米程度は現場付近で採取した軟弱な粗石15立米を中詰めとし、これをコンクリート厚さ15センチメートル程度総量18立米で被覆したにすぎず、堤体としての強度が著しく低下している。						
(316) 同							
	綴喜郡宇治田原町 響池34年災害復 旧	宇治田原町	4,497,000	4,047,300	4,047,300	318,000	286,200
	堤とう延長48メートルの復旧にあたり、胴土は5,883立米を運搬盛土したこととしているが、実際は5,700立米程度を施行したにすぎず、そのつき固めも不十分であったため工事費318,000円相当額が出来高不足となっている。						
(317) 同							
	船井郡園部町熊原 頭首工36年災害復 旧	園部町	702,000	590,382	590,382	702,000	590,382

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

井ぜき延長29メートルの復旧にあたり、えん体162立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートはかき込砂利を使用した配合の悪い粗悪なもので施行しつき固めも不十分であったため内部に空げきを生じており、コンクリートとしての強度が著しく低下している。

(318) 東京都

船井郡日吉町木塚 頭首工34年災害復 旧	日吉町	983,000	807,000	807,000	355,844	292,132
----------------------------	-----	---------	---------	---------	---------	---------

井ぜき延長17メートルの復旧にあたり、えん体36立米は配合比3:7の玉石コンクリートで、また、水たたき61立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートはいずれも現場付近で採取したかき込砂利を使用した配合の悪い粗悪なもので施行しつき固めも不十分であったばかりでなく、えん体は玉石を多量に使用し配列も粗雑なため内部に空げきを生じており、その強度が著しく低下している。

(319) 同

船井郡日吉町小屋 垣内頭首工34年災 害復旧	日吉町	517,000	465,300	465,300	261,000	234,900
------------------------------	-----	---------	---------	---------	---------	---------

井ぜき延長12メートルの復旧にあたり、えん体30立米は配合比3:7の玉石コンクリートで、また、水たたき18立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートはいずれも粗悪な骨材を使用した配合の悪いもので施行しつき固めも不十分であったばかりでなく、えん体は玉石を多量に使用し配列も粗雑なため内部に空げきを生じており、その強度が著しく低下している。

(320) 同

船井郡日吉町中堰 頭首工36年災害復 旧	日吉町	743,000	631,550	631,550	300,640	255,544
----------------------------	-----	---------	---------	---------	---------	---------

井ぜき延長18メートルの復旧にあたり、えん体35立米は配合比3:7の玉石コンクリートで、また、水たたき27立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートはいずれも現場付近で採取した粗悪な骨材を使用した配合の悪いもので施行しつき固めも不十分であったばかりでなく、えん体は玉石を多量に使用し配列も粗雑なため内部に空げきを生じており、その強度が著しく低

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

下している。

(321) 京都府

与謝郡加悦町岩五 谷水路34年災害復 旧	加悦町	2,913,000	2,621,700	2,621,700	318,000	286,200
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長265メートルの復旧にあたり、床止めえん体14立米は配合比4:6の玉石コンクリートで施行し、また、護岸練積石垣421平米は控35センチメートルの雑石を使用し胴込コンクリート平米当り0.12立米総量50立米を施行したこととしているが、実際は床止めえん体は配合の悪い粗悪なコンクリートに玉石を多量に使用しコンクリートのつき固めも不十分であったため、すでに各所から漏水している状況であり、また、練積石垣の築石は控30センチメートル程度のものを使用し、胴込コンクリートは配合の悪い粗悪なもので42立米程度を施行したにすぎない。

計		11,308,000	10,020,932	10,020,932	2,578,484	2,236,058
---	--	------------	------------	------------	-----------	-----------

(322) 大阪府

豊能郡能勢町谷文 幹線水路35年災害 復旧	能勢町	1,501,000	1,262,341	1,262,341	318,101	267,522
-----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長139メートルの復旧にあたり、練積石垣322平米および水路底練石張り45平米は胴込コンクリート平米当り0.18立米から0.1立米総量44立米を施行したこととしているが、実際は胴込コンクリートは平米当り0.06立米から0.08立米程度総量14立米を施行したにすぎず、胴込部分に石くずをそり入しており、築石および張石が容易に抜き取られる状況である。

(323) 兵庫県

三原郡南淡町沼島 漁港修築	兵庫県	15,490,707	15,490,707	15,490,707	689,000	689,000
------------------	-----	------------	------------	------------	---------	---------

防波堤根固め延長102メートルの新設にあたり、6トンテトラポット740個は配合比1:2.5:5のコンクリートで施行したこととしているが、実際はテトラポットのすえ付けが粗雑でそのかみ合せが不十分となっているばかりでなく、うち21個はコンクリートのつき固めおよび養生が不十分であったためコンクリートとしての強度が低下しており、すでに破損している状況である。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

(324) 兵庫県

三木市太郎兵衛頭 首工36年災害復 旧	三木市	6,324,000	5,457,612	3,886,312	284,000	245,092 (245,092)
---------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	----------------------

井ぜき延長109メートルの復旧にあたり、その堤体である木工沈床の上張りコンクリートは幅6メートル、厚さ20センチメートルで総量128立米を施行したこととしているが、実際は厚さ10センチメートル程度で総量64立米を施行したにすぎず、工事費284,000円相当額が出来高不足となっている。

(325) 同

宍粟郡山崎町宇原 頭首工34年災害復 旧	受益者共同 施行	7,847,000	7,062,300	7,062,300	1,238,000	1,114,200
----------------------------	-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

井ぜき延長116メートルの復旧にあたり、付帯水路延長130メートルの三面張りコンクリートは側壁上幅20センチメートル、下幅30センチメートル、底厚20センチメートルで総量74立米、付帯護岸練積石垣279平米の天ば舗装コンクリートは厚さ20センチメートルで総量20立米、胴込コンクリートは総量33立米をいずれも配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので施行しているばかりでなく、三面張りコンクリートは側壁に玉石を混入しているためすでにその一部にき裂を生じており、かつ、底厚15センチメートル程度にすぎず、また、付帯護岸の天ば舗装コンクリートは厚さ7センチメートル程度で総量7立米を施行したにすぎない。

(326) 同

津名郡北淡町斗 内頭首工36年災害 復旧	北淡町	3,264,000	3,002,880	3,002,880	2,166,000	1,992,720
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

井ぜき延長14メートルの復旧にあたり、えん体278立米および付帯護岸擁壁78立米はいずれも配合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はえん体は玉石を多量に使用し玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ15センチメートル程度のコンクリート総量24立米で被覆したにすぎず、また、付帯護岸擁壁は玉石を多量に使用した粗悪な玉石コンクリート67立米を厚さ15センチメートル程度のコンクリート総量11立米で被覆したにすぎず、いずれもその強度が著しく低下している。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

(327) 兵庫県

美方郡浜坂町用土 頭首工36年災害復 旧	浜坂町	3,860,000	2,957,500	2,957,500	1,786,815	1,366,914
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

井ぜき延長51メートルの復旧にあたり、えん体231立米および水たたき282立米は配合比3:7のぐり石コンクリートで施行したこととしているが、実際はぐり石を多量に使用し、コンクリートは粒子の細かい海砂を使用した粗悪なもので施行し、そのつき固めも不十分であったためえん体内部に空げきを生じており、すでに各所から漏水している状況である。

計		36,785,707	33,970,999	32,399,699	6,163,815	5,407,926 (245,092)
---	--	------------	------------	------------	-----------	------------------------

(328) 奈良県

宇陀郡會爾村山粕 水路34年災害復 旧	會爾村	10,127,500	9,722,400	9,722,400	536,000	514,560
---------------------------	-----	------------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長267メートルの復旧にあたり、三面張り水路985立米は配合比3:7のぐり石コンクリートで施行したこととしているが、実際はその側壁822立米は粗悪なコンクリートにぐり石を多量に使用して施行しており、工事費536,000円相当額が出来高不足となっている。

(329) 同

宇陀郡御杖村奥の 長水路34年災害復 旧	御杖村	13,632,000	13,086,720	13,086,720	633,000	607,680
----------------------------	-----	------------	------------	------------	---------	---------

水路延長464メートルの復旧にあたり、擁壁651立米および落差工、床止工、帯工のえん体479立米は配合比3:7の玉石コンクリートで、また、落差工、帯工の水たたき等202立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートはいずれも配合の悪い粗悪なもので施行したにすぎず、工事費633,000円相当額が出来高不足となっている。

(330) 同

宇陀郡御杖村紺谷 川水路34年災害復 旧	御杖村	8,539,000	8,197,440	8,197,440	472,000	453,120
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長194メートルの復旧にあたり、擁壁876立米、床止工、帯工のえん体および付帯護岸402立米は配合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

実際はコンクリートは粗悪な骨材を使用した配合の悪いもので施行したにすぎないなどのため工事費 472,000 円相当額が出来高不足となっている。

(331) 奈良県

宇陀郡御杖村下新 水路34年災害復旧	御杖村	16,011,300	15,370,848	15,370,848	1,185,000	1,137,600
-----------------------	-----	------------	------------	------------	-----------	-----------

水路延長 809 メートルの復旧にあたり、幹線水路延長 649 メートルおよび支線水路延長 160 メートルの擁壁 1,232 立米、落差工、帯工等のえん体 546 立米はいずれも配合比 3:7 の玉石コンクリートで、また、支線水路の擁壁 49 立米および落差工の水たたき 41 立米は配合比 1:3:6 のコンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートは粗悪な骨材を使用した配合の悪いもので施行したにすぎず、工事費 1,185,000 円相当額が出来高不足となっている。

(332) 同

宇陀郡御杖村新道 水路34年災害復旧	御杖村	1,131,500	1,086,240	1,086,240	578,595	555,451
-----------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長 129 メートルの復旧にあたり、うち延長 120 メートルの擁壁 95 立米は配合比 1:3:6 のコンクリートで、また、水路底は厚さ 20 センチメートル総量 26 立米を配合比 3:7 の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートは粗悪な骨材を使用した配合の悪いもので施行しているばかりでなく、つき固めも不十分であったため、コンクリートとしての強度が著しく低下し、すでに各所にき裂を生じている状況で、また、水路底は玉石の配列が粗雑となっているばかりでなく、その厚さも 15 センチメートル程度を施行したにすぎず、容易に破砕される状況である。

(333) 同

宇陀郡室生村奥の 谷川水路34年災害 復旧	室生村	19,096,700	17,759,931	17,759,931	923,000	858,390
-----------------------------	-----	------------	------------	------------	---------	---------

水路延長 702 メートルの復旧にあたり、擁壁 2,146 立米は配合比 3:7 のぐり石コンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートは現場付近で採取した粗悪な砂利を多量に混用して施行したにすぎないなどのため工事費 923,000 円相当額が出来高不足となっている。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

(334) 奈良県

宇陀郡室生村庄屋 川水路34年災害復 旧	室生村	9,957,600	9,260,568	9,260,568	515,000	478,950
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長 427 メートルの復旧にあたり、擁壁 856 立米は配合比 1:3:6 のコンクリートで、また、床止工、帯工 173 立米は配合比 3:7 のぐり石コンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートは現場付近で採取した粗悪な骨材を 3 分の 1 程度混用した配合の悪いもので施行したにすぎないなどのため工事費 515,000 円相当額が出来高不足となっている。

(335) 同

宇陀郡室生村ハゼ キ水路34年災害復 旧	室生村	2,161,000	2,009,730	1,404,650	330,000	306,900 (306,900)
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	----------------------

水路延長 240 メートルの復旧にあたり、落差工 14 メートルのえん体 27 立米は配合比 3:7 のぐり石コンクリートで施行したこととしているが、実際はぐり石 22 立米を中詰めとし、これを配合の悪い粗悪なコンクリート厚さ 12 センチメートル程度総量 4 立米で被覆したにすぎず、えん体としての強度が著しく低下している。

(336) 同

宇陀郡室生村宮の 前頭首工34年災害 復旧	室生村	4,613,500	4,290,555	4,290,555	897,011	834,220
-----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

井ぞき延長 32 メートルの復旧にあたり、えん体および水たたき 189 立米は配合比 1:3:6 のコンクリートで施行したこととしているが、実際はコンクリートは現場付近で採取した粗悪な骨材を使用しているばかりでなく、軟弱な玉石を多量に混入しているため、コンクリートとしての強度が著しく低下しており、すでにその一部は欠壊している状況である。

計		85,270,100	80,784,432	80,179,352	6,069,606	5,746,871 (306,900)
---	--	------------	------------	------------	-----------	------------------------

(337) 和歌山県

御坊市庄屋林頭首 工35年災害復旧	御坊市	1,050,000	808,500	802,740	601,811	463,394 (5,760)
----------------------	-----	-----------	---------	---------	---------	--------------------

井ぞき延長 14 メートルの復旧にあたり、えん体 59 立米および水たたき 15 立米は配合比 3:7 の玉石コンクリートで、付帯護岸練積石垣 94 平米の胴込コンクリートは配合比 1:3:6 で平米当り 0.17 立米総量 16 立米を施行したこととしているが、実際はえ

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち87年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

ん体は玉石25立米を申請めとし、これをコンクリート厚さ30センチメートル程度総量33立米で被覆し、水たたきは玉石9立米を厚さ20センチメートル程度のコンクリート総量6立米で被覆したにすぎず、いずれもその強度が著しく低下しており、また、付帯護岸練積石垣の胴込コンクリートは配合の悪い粗悪なもので平米当り0.05立米程度総量4立米を施行したにすぎない。

(338) 和歌山県

有田郡清水町大和 杉水路36年災害復 旧	清水町	3,560,000	3,044,212	2,914,672	262,000	224,038 (129,540)
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	----------------------

水路延長316メートルの復旧にあたり、練積石垣1,158平米の胴込コンクリートは平米当り0.1立米総量115立米を施行したこととしているが、実際は半量程度の57立米を施行したにすぎないなどのため工事費262,000円相当額が出来高不足となっている。

(339) 同

有田郡広川町井窪 頭首工35年災害復 旧	広川町	796,000	676,600	676,600	322,000	273,700
----------------------------	-----	---------	---------	---------	---------	---------

井ぞき延長16メートルの復旧にあたり、付帯水路擁壁38立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際は粗悪な骨材を使用しコンクリートのつき固めが不十分であったためその強度が著しく低下しており、すでに各所から漏水している状況である。

(340) 同

伊都郡花園村有中 谷大滝原頭首工36 年災害復旧	花園村	788,000	763,572	648,688	788,000	763,572 (114,884)
--------------------------------	-----	---------	---------	---------	---------	----------------------

井ぞき延長22メートルの復旧にあたり、えん体は土砂194立米を掘さくし配合比4:6の玉石コンクリート82立米を施行したこととしているが、実際はえん体底部の土砂13立米を掘さくすることなく、その上部に玉石10立米程度を積み重ね、これを玉石コンクリート57立米で被覆したにすぎないばかりでなく、工事中堤体内に設けた仮排水路を埋めもどすことなくそのまま放置しているなどのため、えん体としての強度が著しく低下している。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち87年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

(341) 和歌山県

那賀郡粉河町上円 生谷大谷水路第2 号36年災害復旧	粉河町	1,452,000	1,235,652	1,235,652	1,452,000	1,235,652
----------------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

水路延長193メートルの復旧にあたり、練積石垣470平米は控30センチメートルの雑石を使用し、平米当り胴込コンクリートは配合比1:3:6で0.1立米総量47立米、裏込り石は0.3立米総量141立米を施行し、また、底練石張り143平米は控30センチメートルの雑石を使用し、胴込コンクリートは配合比1:3:6で平米当り0.1立米総量14立米を施行したこととしているが、実際は築石および張石は控15センチメートルから30センチメートル程度の不ぞろいなものを使用しているばかりでなく、石積みおよび張石の施行が粗雑となっており、胴込コンクリートはいずれも配合の悪いきわめて粗悪なもので目地程度、裏込り石は半量程度を施行したにすぎず、築石および張石が容易に抜き取られる状況であり、すでに流水は水路内を流れることなく伏流している。

(342) 同

西牟婁郡上富田町 岡川頭首工34年災 害復旧	上富田町	559,000	503,100	503,100	330,642	297,577
------------------------------	------	---------	---------	---------	---------	---------

井ぞき延長7メートルの復旧にあたり、えん体16立米、水たたき練石張り39平米は胴込コンクリート4立米、基礎コンクリート5立米をいずれも配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際はえん体のコンクリートは水洗いの不十分な骨材を使用し、配合のきわめて悪い粗悪なもので施行しているためその強度が著しく低下し、すでに各所が摩耗しており、また、水たたきの胴込コンクリートは粗悪なもので半量程度を施行したにすぎないばかりでなく、基礎コンクリートはほとんど施行していないため、すでにその大半が流失している状況である。また、付帯護岸練積石垣58平米の胴込コンクリートは総量10立米を施行したこととしているが、実際は粗悪なもので半量程度の5立米を施行したにすぎない。

(343) 同

西牟婁郡すさみ町 佐本栗垣内飯屋頭 首工33年災害復旧	すさみ町	608,000	468,160	468,160	477,861	367,952
-----------------------------------	------	---------	---------	---------	---------	---------

井ぞき延長15メートルの復旧にあたり、えん体71立米は配合比4:6の玉石コンク

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

リートで施行したこととしているが、実際は現場付近で採取したかき込砂利を使用した配合の悪い粗悪なコンクリートで施行しているばかりでなく、そのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、玉石コンクリートとしての強度が著しく低下している。また、付帯護岸練積石垣 52 平米の胴込コンクリートは平米当り 0.14 立米総量 7 立米を施行したこととしているが、実際は半量程度の 3 立米を施行したにすぎない。

(344) 和歌山県

西牟婁郡すさみ町 佐本栗垣内宮前頭 首工33年災害復旧	すさみ町	911,000	701,470	701,470	503,601	387,772
-----------------------------------	------	---------	---------	---------	---------	---------

井ぞき延長 15 メートルの復旧にあたり、えん体 78 立米は配合比 4 : 6 の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際は現場付近で採取したかき込砂利を使用した配合の悪い粗悪なコンクリートで施行しているばかりでなく、そのつき固めも不十分であったため内部に空げきを生じ、すでに漏水している状況である。また、付帯護岸練積石垣 142 平米の胴込コンクリートは平米当り 0.14 立米総量 19 立米を施行したこととしているが、実際は半量程度の 9 立米を施行したにすぎない。

(345) 同

日高郡中津村西原 頭首工35年災害復 旧	中津村	2,921,000	2,738,600	2,738,600	2,538,521	2,380,004
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

井ぞき延長 23 メートルの復旧にあたり、えん体 329 立米および付帯護岸練積石垣の基礎擁壁 91 立米は配合比 1 : 3 : 6 のコンクリートで施行したこととしているが、実際はいずれも玉石を多量に混入しているばかりでなくその配列が粗雑となっており、コンクリートのつき固めも不十分であったため内部に多くの空げきを生じ、その強度が著しく低下しており、すでに基礎擁壁は各所から漏水している状況である。

(346) 同

日高郡美山村皆瀬 水路35年災害復旧	美山村	2,161,000	2,031,340	2,031,340	216,000	203,040
-----------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

水路延長 65 メートルの復旧にあたり、練積石垣 793 平米の胴込コンクリート平米当り 0.1 立米総量 79 立米、水路の底張りコンクリート 33 立米、水たたきコンクリート 83 立米はいずれも配合比 1 : 3 : 6 で施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので施行しているばかりでなく、練積石垣の胴込コンクリートは平米当り

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

0.07 立米程度総量 55 立米を施行したにすぎないなどのため、工事費 216,000 円相当額が出来高不足となっている。

計			14,806,000	12,971,206	12,721,022	7,492,436	6,596,701 (250,184)
---	--	--	------------	------------	------------	-----------	------------------------

(347) 島根県

安来市浜小崎地区 海岸堤防34年災害 復旧	島根県	1,762,400	1,214,293	1,214,293	667,400	459,838
-----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

堤防延長 73 メートルの復旧にあたり、根固め捨石 249 立米は 1 個当り 100 キログラム以上のものを捨て込みそのならしを施行したこととしているが、実際は捨石のうち約 6 割は 50 キログラム程度のもので行っているばかりでなく、ならしも粗雑で、根固めとしての効果が著しく減殺されている。

(348) 同

出雲市赤谷頭首工 36年災害復旧	出雲市	1,080,000	934,200	934,200	260,034	224,929
---------------------	-----	-----------	---------	---------	---------	---------

井ぞき延長 9 メートルの復旧にあたり、水たたき 35 立米は配合比 4 : 6 の玉石コンクリート、止水壁 17 立米は配合比 1 : 3 : 6 のコンクリートで施行し、また、付帯護岸練積石垣 126 平米の胴込コンクリートは配合比 1 : 3 : 6 で平米当り 0.17 立米総量 21 立米を施行したこととしているが、実際は水たたきは配合の悪いコンクリートで施行しそのつき固めも不十分であったためきわめて粗悪なものとなっており、すでにその一部は摩耗、洗掘されている状況で、止水壁は玉石を混入して施行しており、また、胴込コンクリートは粗悪なもので半量程度を施行したにすぎない。

(349) 同

鹿足郡日原町添谷 水路36年災害復旧	日原町	871,000	758,641	758,641	587,761	511,939
-----------------------	-----	---------	---------	---------	---------	---------

水路延長 74 メートルの復旧にあたり、練積石垣 189 平米は控 35 センチメートルの雑割石を使用し胴込コンクリートは配合比 1 : 3 : 6 で平米当り 0.18 立米総量 34 立米を施行したこととしているが、実際は築石の約 4 割は控 30 センチメートル程度のもので行っているばかりでなく、その半量程度は野づら石を大割りしたものを混用しているため不ぞろいな石垣となっており、胴込コンクリートは配合の悪い粗悪なもので

道府県名	工 事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
			平米当り0.14立米程度総量27立米を施行したにすぎないため、築石が容易に抜き取られる状況である。				
(350)	島 根 県						
	那賀郡三隅町古湊漁港修築	三 隅 町	12,900,000	4,300,000	4,300,000	968,773	322,924
			防波堤延長42メートルの新設にあたり、堤体の場所打ちコンクリート315立米は配合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際は玉石を多量に使用しその配列も粗雑であり、かつ、コンクリートのつき固めが不十分であったため堤体内部に空けきを生じており、玉石コンクリートとしての強度が著しく低下している。				
(351)	同						
	八束郡美保関町片江漁港修築	美 保 関 町	6,234,000	2,078,000	2,078,000	780,000	260,000
			物揚場延長80メートルの新設にあたり、岸壁の裏込土751立米および埋立盛土5,128立米計5,879立米は400メートルの地点から山土を運搬施行したこととしているが、実際はうち5,000立米程度は現場付近で採取した海砂を使用して施行したにすぎないなどのため工事費780,000円相当額が出来高不足となっている。				
	計		22,847,400	9,285,134	9,285,134	3,263,968	1,779,630
(352)	徳 島 県						
	阿南市伊島漁港築	徳 島 県	35,319,920	34,144,940	34,144,940	11,534,458	10,590,140
			防波堤延長263メートルの新設にあたり、延長100メートルの既設堤防上部の波返し647立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行し、また、延長163メートルの堤体2,145立米のうち2,032立米は配合比2:8の玉石コンクリートで、残りの112立米および波返し75立米は1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際は堤体および波返しはいずれも現場付近で採取した著しく不ぞろいな雑石を中詰めとし、これを配合の悪い粗悪なコンクリートで被覆したり、玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設したりしているなどのため、防波堤としての強度が著しく低下している。				
(353)	同						
	麻植郡木屋平村川上地内崩壊地復旧	徳 島 県	1,518,000	1,012,000	1,012,000	1,518,000	1,012,000

道府県名	工 事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
			えん堤延長23メートルの新設にあたり、えん体260立米は配合比6:4の玉石コンクリートで施行し、その基礎は水裏は岩盤上に、水裏は岩盤に69立米を根入れして打設したこととしているが、実際は水裏の岩盤線が設計より低かったのにそのまま施行したため岩盤に根入れしたのは21立米にすぎず、堤底延長23メートルのうち8メートル間は全く根入れされておらず、すでにそのうち延長4メートルにわたり深さ30センチメートル程度が洗掘され、堤底を通水している状況である。				
(354)	徳 島 県						
	海部郡由岐町志和岐由岐漁港修築	徳 島 県	17,000,000	6,800,000	6,800,000	829,742	331,896
			防波堤延長16メートルの新設にあたり、場所打ちコンクリート208立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際はコンクリートはぐり石を混入した配合の悪い粗悪なもので施行しているばかりでなく、その打設が粗雑であったため骨材が分離し各所に砂利だけの層を生じており、コンクリートとしての強度が著しく低下している。				
(355)	同						
	海部郡由岐町東由岐由岐漁港36年災害復旧	徳 島 県	1,562,715	1,053,342	1,053,342	337,287	203,743
			防波堤延長158メートルの復旧にあたり、堤体174立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はうち延長120メートル141立米は配合の悪い粗悪なコンクリートで施行しており、また、延長38メートル32立米は玉石18立米を中詰めとし、これをコンクリート厚さ15センチメートル程度総量14立米で被覆したにすぎず、その強度が著しく低下している。				
(356)	同						
	徳島市百間場水路36年災害復旧	徳 島 市	2,870,000	1,865,500	1,865,500	364,861	237,159
			護岸延長38メートルの復旧にあたり、練積石垣102平米は控35センチメートルの雑割石を使用し胴込コンクリートは配合比1:3:6で平米当り0.17立米または0.22立米総量20立米を施行したこととしているが、実際は石積みの施行が粗雑となっているばかりでなく、胴込コンクリートは配合の悪いきわめて粗悪なもので平米当り0.05立米程度総量5立米を施行したにすぎず、築石が容易に抜き取られる状況である。				

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
(357)	徳島県						
	勝浦郡勝浦町中角地区農地保全施設36年災害復旧	勝浦町	642,000	417,300	417,300	642,000	417,300
	擁壁延長33メートルの復旧にあたり、擁壁119立米は配合比5:5の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを配合比1:3:6のコンクリート厚さ20センチメートル程度総量48立米で被覆したにすぎず、擁壁としての強度が著しく低下している。						
(358)	同						
	三好郡三加茂町加茂谷頭首工36年災害復旧	三加茂町	2,613,000	1,620,100	1,620,100	1,448,000	899,650
	井ぞき延長25メートルの復旧にあたり、えん体および水たたき311立米は配合比3:7の玉石コンクリートで施行したこととしているが、実際は玉石を多量に使用しその配列が粗雑となっているばかりでなく、コンクリートのつき固めも不十分であったため内部に空げきを生じ、すでにえん体および水たたきから漏水している状況である。						
	計		61,525,635	46,913,182	46,913,182	16,674,348	13,691,888
(359)	長崎県						
	杵岐郡郷ノ浦町大島漁港34年災害復旧	長崎県	918,000	767,400	767,400	786,857	657,812
	護岸延長66メートルの復旧にあたり、擁壁132立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なコンクリートに玉石を多量に混入しているばかりでなく、コンクリートのつき固めも不十分であったため、内部に多くの空げきを生じており、擁壁としての強度が著しく低下している。						
(360)	同						
	上県郡上県町伊奈漁港修築	長崎県	11,844,000	11,844,000	11,844,000	723,000	723,000
	防波堤延長80メートルの新設にあたり、堤体の根固め被覆石585立米、同張立て663平米を施行したこととしているが、実際は被覆石326立米程度、張立て361平米程度を施行したにすぎないなどのため工事費723,000円相当額が出来高不足となっている。						
(361)	同						
	上県郡上対馬町小鹿漁港修築	長崎県	8,954,612	8,719,600	8,719,600	442,000	430,399

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
(362)	長崎県						
	下県郡厳原町豆蔵漁港34年災害復旧	長崎県	27,915,000	23,336,940	23,336,940	909,000	759,924
	防波堤延長79メートルの復旧にあたり、堤体場所打ちコンクリート3,048立米、基礎コンクリート方塊104個780立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は玉石を混入して施行しており、工事費909,000円相当額が出来高不足となっている。						
(363)	同						
	長崎市福田漁港34年災害復旧	長崎市	17,360,691	11,579,580	11,579,580	4,603,442	3,070,495
	護岸延長308メートルの復旧にあたり、練積石垣1,213平米は控55センチメートルの雑割石を使用し、平米当り胴込コンクリート0.28立米総量339立米、裏込コンクリート0.1立米総量121立米を配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は石積みみの施行が粗雑となっているばかりでなく、胴込コンクリートは配合の悪い粗悪なもので半量程度を施行したにすぎず、また、裏込コンクリートは胴込コンクリートと同様粗悪なもので石垣の法長2メートルから4.5メートルのうち天ばから1.5メートル程度までの間を施行しただけでその下部は全く施行していないため、すでに石垣の内部に通水している状況である。また、練積石垣の中詰めぐり石は径15センチメートルから30センチメートルのもので2,714立米を施行したこととしているが、実際は大割石を混入し、2,596立米程度を施行したにすぎないため中詰め部分に空げきを生じ、すでに延長30メートル間の練積石垣はき裂を生じて後方に20センチメートル程度傾斜し、天ば舗装コンクリートも20センチメートル程度沈下している状況である。						
(364)	同						
	諫早市東嶽崎水路36年災害復旧	諫早市	5,472,000	5,171,040	5,171,040	633,000	598,185
	水路延長569メートルの復旧にあたり、練積石垣909平米の胴込コンクリートは平米当り0.23立米総量209立米を施行したこととしているが、実際は平米当り0.15立米						

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

程度総量 139 立米を施行したにすぎないなどのため工事費 633,000 円相当額が出来高不足となっている。

(365) 長崎県

平戸市古田漁港34 年災害復旧	平戸市	1,870,000	1,645,600	1,645,600	384,000	337,920
--------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

防波堤延長 75 メートルの復旧にあたり、練積石垣 293 平米の胴込コンクリートは平米当り 0.23 立米総量 67 立米を施行したこととしているが、実際は目地程度を施行したにすぎないなどのため工事費 384,000 円相当額が出来高不足となっている。

(366) 同

上県郡峰村志多賀 漁港34年災害復旧	峰村	1,602,000	1,545,930	1,545,930	665,000	641,725
-----------------------	----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

防波堤延長 18 メートルの復旧にあたり、堤体の根固め被覆石 476 立米、同張立て 512 平米を施行したこととしているが、実際は被覆石 360 立米程度を施行したにすぎず、張立てはほとんど施行していないため、工事費 665,000 円相当額が出来高不足となっている。

(367) 同

北松浦郡小佐々町 楠泊漁港修築	小佐々町	7,857,000	2,618,738	2,618,738	777,000	258,974
--------------------	------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

防波堤延長 37 メートルの新設にあたり、堤体のから積石垣 383 平米は控 1 メートルの野づら石を使用し、中埋めぐり石は 300 キログラム以上のもので 3,813 立米を施行したこととしているが、実際は石積みの施行が粗雑となっているばかりでなく、中埋めぐり石は 3,432 立米程度を施行したにすぎないなどのため、工事費 777,000 円相当額が出来高不足となっている。

(368) 同

下県郡巖原町瀬漁 港34年災害復旧	巖原町	1,048,000	958,900	958,900	550,959	504,127
----------------------	-----	-----------	---------	---------	---------	---------

導流堤延長 52 メートルの復旧にあたり、堤体練積石垣 211 平米は控 45 センチメートルの野づら石を使用し、胴込コンクリート平米当り 0.15 立米総量 31 立米、裏込コンクリート厚さ 30 センチメートル総量 59 立米をいずれも配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は胴込コンクリートは配合の悪い粗悪なもので施行し、裏込コンクリートは全く施行していないため、導流堤としての強度が著しく低下している。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫補助金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫補助金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

(369) 長崎県

南高来郡南串山村 京泊漁港A箇所34 年災害復旧	南串山村	7,769,000	7,559,237	7,559,237	733,000	713,209
--------------------------------	------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

護岸延長 305 メートルの復旧にあたり、練積石垣 1,294 平米は控 55 センチメートルの雑割石を使用し、裏込コンクリート平米当り 0.1 立米総量 129 立米を施行したこととしているが、実際は石積みの施行が粗雑となっているばかりでなく、裏込コンクリートは半量程度の 64 立米を施行したにすぎないなどのため、工事費 733,000 円相当額が出来高不足となっている。

(370) 同

南高来郡南串山村 京泊漁港B箇所34 年災害復旧	南串山村	3,096,000	3,012,408	3,012,408	275,000	267,575
--------------------------------	------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

護岸延長 133 メートルの復旧にあたり、練積石垣 481 平米は控 55 センチメートルの雑割石を使用し、裏込コンクリート平米当り 0.1 立米総量 48 立米を施行したこととしているが、実際は石積みの施行が粗雑となっているばかりでなく、裏込コンクリートは半量程度の 24 立米を施行したにすぎないなどのため、工事費 275,000 円相当額が出来高不足となっている。

(371) 同

南高来郡南串山村 京泊漁港(椎木川) 34年災害復旧	南串山村	1,921,000	1,869,133	1,869,133	227,000	220,871
----------------------------------	------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

防波堤延長 51 メートルの復旧にあたり、練積石垣 447 平米の胴込コンクリートは平米当り 0.24 立米総量 107 立米を施行したこととしているが、実際は平米当り 0.17 立米程度総量 76 立米を施行したにすぎず、工事費 227,000 円相当額が出来高不足となっている。

計		97,627,303	80,628,506	80,628,506	11,709,258	9,184,216
---	--	------------	------------	------------	------------	-----------

(372) 宮崎県

西臼杵郡日の影町 椴木尾林道35年災 害復旧	宮崎県	6,718,000	5,880,200	5,880,200	246,000	215,323
------------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

林道延長 221 メートルの復旧にあたり、土留擁壁延長 79 メートル 615 立米は配合比 6:4 の玉石コンクリート 520 立米を配合比 1:3:6 のコンクリート 95 立米で被覆したこととしているが、実際は玉石を多量に使用した玉石コンクリート 500 立米をコ

別表第3 公共事業に対する国庫負担金等の経理当を得ないもの(建設省)

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

(一般会計の分)

(444) 北海道

砂川市豊平川36年 災害復旧	砂川市	2,074,000	1,659,200	1,659,200	934,000	747,200
-------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

護岸延長115メートルの復旧にあたり、コンクリートブロック積み484平米を施行したものであるが、うち80メートルの間264平米は積み方が粗雑なため合間に空げき箇所が多くすではらみを生じているばかりでなく、一部のブロックは砂を多量に混入した粗悪なもので容易に破碎される状況である。

(445) 同

空知郡富良野町布 部川36年災害復旧 (689号)	富良野町	4,416,783	4,094,357	3,546,657	608,000	563,616 (547,700)
---------------------------------	------	-----------	-----------	-----------	---------	----------------------

護岸延長84メートルの復旧にあたり、練石張り883平米は平米当り胴込コンクリート0.12立米総量106立米、裏込コンクリート0.1立米総量88立米を施行したものであるが、うち16メートルの間172平米の胴込コンクリートおよび裏込コンクリート総量37立米ならびに31メートルの間329平米の裏込コンクリート総量32立米は冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し胴込コンクリートおよび裏込コンクリートとしての強度がなく、前記16メートルの間は張石が容易に抜き取られる状況である。

(446) 同

空知郡富良野町布 部川36年災害復旧 (690号)	富良野町	4,154,957	3,851,645	3,330,972	729,000	675,783 (520,673)
---------------------------------	------	-----------	-----------	-----------	---------	----------------------

護岸延長109メートルの復旧にあたり、練石張り656平米は平米当り胴込コンクリート0.12立米総量78立米、裏込コンクリート0.1立米総量65立米を施行したものであるが、うち47メートルの間284平米の胴込コンクリートおよび裏込コンクリート総量62立米は冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し胴込コンクリートおよび裏込コンクリートとしての強度がなく、張石が容易に抜き取られる状況である。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

(447) 北海道

瀬棚郡瀬棚町馬場 川36年災害復旧	瀬棚町	1,482,367	1,427,519	1,186,658	213,000	205,119 (205,119)
----------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	----------------------

道路延長125メートルの復旧にあたり、路側練積石垣312平米は裏込コンクリート平米当り0.1立米総量31立米を施行したこととしているが、実際は裏込コンクリートおよび石垣12平米は全く施行していないため工事費213,000円相当額が出来高不足となっている。

(448) 同

瀬棚郡瀬棚町馬場 川36年災害復旧	瀬棚町	3,939,232	3,793,480	3,180,000	478,000	460,314 (460,314)
----------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	----------------------

護岸延長145メートルの復旧にあたり、表法練積石垣484平米の裏込コンクリートは平米当り0.15立米総量72立米を、裏法練積石垣は106平米を施行したこととしているが、実際は表法練積石垣の裏込コンクリートは全く施行していないばかりでなく、裏法練積石垣は52平米を施行したにすぎず、工事費478,000円相当額が出来高不足となっている。

計		16,067,339	14,826,201	12,903,487	2,962,000	2,652,032 (1,733,806)
---	--	------------	------------	------------	-----------	--------------------------

(449) 秋田県

大館市大茂内川36 年災害復旧	秋田県	2,299,484	1,533,775	1,533,775	443,000	295,481
--------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

護岸延長100メートルの復旧にあたり、根固めカーテンブロック57個、十字ブロック57個総量88立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したものであるが、うちカーテンブロック41個、十字ブロック36個総量60立米は骨材として不適格な砂を使用したばかりでなく養生が不十分であったため強度が低下し、容易に破碎される状況であり、また、法わくコンクリートの基礎ぐり石は95立米を施行したこととしているが、実際は全く施行していない。

(450) 同

雄勝郡稲庭川連町 皆瀬川35年災害復 旧	秋田県	5,346,000	3,644,807	3,644,807	1,301,000	886,998
----------------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	---------

護岸延長138メートルの復旧にあたり、法わく植石コンクリート張り831平米のコンクリート200立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は現場付近で

道府県名	工 事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円
	採取した不適格な骨材を使用した配合の悪い粗悪なもので施行したためコンクリートとしての強度が低下し、容易に破砕される状況である。						
(451)	秋 田 県						
	雄勝郡稲庭川遠町 皆瀬川36年災害復 旧	秋 田 県	1,079,568	720,071	720,071	392,000	261,464
	護岸延長 35 メートルの復旧にあたり、法わく植石コンクリート張り 210 平米のコンクリート 50 立米は配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は現場付近で採取した不適格な骨材を使用した配合の悪い粗悪なもので施行したためコンクリートとしての強度が低下し、容易に破砕される状況である。						
(452)	同						
	仙北郡角館町玉川 災害関連	秋 田 県	3,205,000	2,067,227	2,067,227	426,000	274,770
	水制 3 基の復旧にあたり、木工沈床の中詰めコンクリートブロック 384 個 107 立米は配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際はうち 339 個 95 立米は粗悪なコンクリートで施行したばかりでなく、冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結しコンクリートとしての強度が著しく低下しており、すでに一部は摩耗している状況である。						
(453)	同						
	山本郡八森町真瀬 川36年災害復旧	八 森 町	3,399,000	2,267,133	2,267,133	722,000	481,574
	護岸延長 197 メートルの復旧にあたり、練積石垣 567 平米は控 35 センチメートルの野づら石を使用し、胴込コンクリート平米当り 0.12 立米総量 68 立米を施行したこととしているが、実際はうち 356 平米の築石の 3 割程度は控 25 センチメートル程度のものを使用し、胴込コンクリートは 8 割程度を施行したにすぎないばかりでなく、冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し、練積石垣としての強度が低下している。						
	計		15,329,052	10,233,013	10,233,013	3,284,000	2,200,287
(454)	山 形 県						
	西置賜郡小国町荒 川34年災害復旧	山 形 県	3,470,000	2,324,900	2,324,900	436,000	292,120

道府県名	工 事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円
	護岸延長 150 メートルの復旧にあたり、根固め十字ブロック 216 個は配合比 1:3:6 のコンクリートで施行したこととしているが、実際はうち 64 個は配合の悪い粗悪なもので施行したため強度が著しく低下し、すでに各所が摩耗している状況である。						
(455)	福 島 県						
	南会津郡下郷町観 音川33年災害復旧	福 島 県	3,616,200	2,607,280	2,607,280	358,000	258,118
	護岸延長 105 メートルの復旧にあたり、根固め十字ブロック 106 個は配合比 1:3:6 のコンクリートで施行したものであるが、うち 65 個は冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し強度が著しく低下しており、容易に破砕される状況である。						
(456)	同						
	南会津郡只見町伊 南川災害助成	福 島 県	37,359,325	18,679,662	18,679,662	627,000	313,500
	護岸延長 1,190 メートルの復旧にあたり、I 型ブロック張り 122 組の中詰め石張り 4,878 平米は目詰め砂利平米当り 0.1 立米総量 487 立米を、また、築堤の衣土は 573 立米を施行したこととしているが、実際は目詰め砂利は全く施行せず、衣土は現場付近で採取した不適格な土質を使用したなどのため、工事費 627,000 円相当額が出来高不足などとなっている。						
(457)	同						
	南会津郡南郷村伊 南川災害助成	福 島 県	19,612,615	14,140,695	14,140,695	489,000	352,569
	護岸延長 807 メートルの復旧にあたり、I 型ブロック張り 74 組の中詰め石張り 2,426 平米は目詰め砂利平米当り 0.1 立米総量 242 立米を、また、築堤の衣土は 455 立米を施行したこととしているが、実際は目詰め砂利は全く施行せず、衣土は現場付近で採取した不適格な土質を使用したなどのため、工事費 489,000 円相当額が出来高不足などとなっている。						
(458)	同						
	南会津郡南郷村伊 南川34年災害復旧	福 島 県	13,429,075	9,262,758	9,262,758	735,000	506,968
	護岸延長 463 メートルの復旧にあたり、野づら練石張り 3,002 平米の裏込コンクリートは平米当り 0.15 立米総量 450 立米を施行したこととしているが、実際は平米当り						

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

0.09 立米程度総量 270 立米を施行したにすぎず、工事費 735,000 円相当額が出来高不足となっている。

(459) 福島県

耶麻郡西会津町阿賀川34年災害復旧 福島県 12,476,171 8,802,767 8,802,767 639,000 450,856

護岸延長 442 メートルの復旧にあたり、練石張り 1,060 平米のうち 916 平米の胴込コンクリートは平米当り 0.18 立米総量 164 立米を、また、ぐり石粗だ工 1,633 平米の切込砂利は平米当り 0.15 立米総量 244 立米を施行したこととしているが、実際は胴込コンクリートは平米当り 0.1 立米程度で総量 91 立米を施行したにすぎず、また、切込砂利は全く施行していないなどのため、工事費 639,000 円相当額が出来高不足などとなっている。

計 86,493,386 53,493,162 53,493,162 2,848,000 1,882,011

(460) 神奈川県

横浜市都市下水路 横浜市 8,760,000 2,920,000 2,920,000 1,937,000 645,666

菊名排水路築造 護岸延長 600 メートルの新設にあたり、コンクリートブロック積み 1,440 平米の胴込ぐり石コンクリートは平米当り 0.25 立米総量 360 立米を配合比 3:7 で、また、裏込ぐり石は平米当り 0.2 立米総量 288 立米を施行したこととしているが、実際は胴込ぐり石コンクリートは土砂混りのぐり石の上にわずかにコンクリートを打設したにすぎず、また、裏込ぐり石は半量程度で 144 立米を施行したにすぎないため、工事費 1,937,000 円相当額が出来高不足となっている。

(461) 同

横浜市永谷川36年災害復旧 横浜市 1,906,000 1,271,302 1,271,302 350,000 233,450

護岸延長 109 メートルの復旧にあたり、練積石垣 359 平米の胴込コンクリートは平米当り 0.18 立米総量 64 立米を配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので半量程度を施行したにすぎず、胴込コンクリートとしての強度が著しく低下している。

計 10,666,000 4,191,302 4,191,302 2,287,000 879,116

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

(462) 新潟県

南蒲原郡下田村県道鞍掛大江越後長沢停車場線36年災害復旧 新潟県 8,927,149 7,454,169 7,454,169 3,378,000 2,820,630

道路延長 270 メートルの復旧にあたり、練石張り 1,345 平米は控 35 センチメートルの雑割石を使用し、平米当り胴込コンクリート 0.18 立米総量 242 立米、裏込コンクリート 0.1 立米総量 134 立米を施行したこととしているが、実際は張石の控が不足しているばかりでなく、その 8 割程度は雑石を使用し胴込コンクリートは平米当り 0.1 立米または 0.15 立米程度で総量 161 立米を施行したにすぎず、裏込コンクリートは全く施行していないため練石張りとしての強度が著しく低下している。

(463) 同

柏崎市市道芋川 107号線 36年災害復旧 柏崎市 810,000 552,420 552,420 505,000 344,410

道路延長 70 メートルの復旧にあたり、練積石垣 185 平米は控 30 センチメートルの野づら石を使用し、胴込コンクリートおよび裏込コンクリート 37 立米を配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は築石の 3 割程度は控 20 センチメートルから 25 センチメートル程度のものを使用し、胴込コンクリートおよび裏込コンクリートは配合の悪い粗悪なもので施行したため胴込コンクリートおよび裏込コンクリートとしての強度がなく、築石が容易に抜き取られる状況である。

計 9,737,149 8,006,589 8,006,589 3,883,000 3,165,040

(464) 富山県

氷見市市道宮田18号線36年災害復旧 氷見市 1,007,284 894,468 671,858 244,000 216,672 (216,672)

道路延長 145 メートルの復旧にあたり、練積石垣 302 平米は平米当り胴込コンクリート 0.17 立米総量 51 立米、裏込ぐり石 0.35 立米総量 105 立米を施行したこととしているが、実際は平米当り胴込コンクリートは 0.06 立米程度で総量 18 立米、裏込ぐり石は 0.12 立米程度で総量 36 立米を施行したにすぎず、工事費 244,000 円相当額が出来高不足となっている。

(465) 福井県

大野市打波川35年災害復旧 福井県 2,143,475 1,601,175 1,601,175 2,143,475 1,601,175

道府県名	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち87年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
		円	円	円	円	円

護岸延長71メートルの復旧にあたり、擁壁の玉石コンクリート408立米は配合比4:6で施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ15センチメートルから30センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、擁壁としての強度が著しく低下している。

(466) 福 井 県

大野市九頭竜川36年災害復旧	福 井 県	24,200,000	22,748,000	22,748,000	981,000	922,140
----------------	-------	------------	------------	------------	---------	---------

護岸延長370メートルの復旧にあたり、根固めアンカー十字ブロック35組のコンクリート1,946立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際はうち4組189立米は粗悪なコンクリートで施行したためコンクリートとしての強度が著しく低下し、容易に破砕される状況である。

(467) 同

南条郡今庄町赤谷川36年災害復旧	福 井 県	18,667,989	17,698,281	17,698,281	18,667,989	17,698,281
------------------	-------	------------	------------	------------	------------	------------

流路延長735メートルの復旧にあたり、えん堤4基(1号1,161立米、2号1,012立米、5号50立米、6号462立米)の玉石コンクリート総量2,686立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は1,2号主えん堤総量1,365立米は玉石1,152立米を中詰めとし、これを厚さ20センチメートル程度のコンクリートで被覆し、5号えん堤および6号主えん堤、1,2,6号副えん堤総量632立米は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ10センチメートルまたは20センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、また、1,2,6号えん堤の水たき総量446立米は半量程度を施行したにすぎないなどのため、えん堤としての強度が著しく低下している。

(468) 同

南条郡今庄町田倉川36年災害復旧	福 井 県	10,752,267	10,132,266	10,132,266	1,638,000	1,543,548
------------------	-------	------------	------------	------------	-----------	-----------

護岸延長213メートルの復旧にあたり、凸型十字ブロック5組220立米およびカーテンブロック20組455立米は配合比1:3:6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はいずれも3:7程度の玉石コンクリートで施行しているばかりでなく、うち十字ブロック4組は現場付近で採取した不適格な骨材を使用した粗悪なもので

道府県名	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち87年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
		円	円	円	円	円

施行したためコンクリートとしての強度が低下し、容易に破砕される状況である。

(469) 福 井 県

丹生郡越前村居倉大川34年災害復旧	福 井 県	5,724,110	5,552,386	5,552,386	1,681,000	1,630,570
-------------------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長28メートルの復旧にあたり、えん体の玉石コンクリート596立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は右岸側272立米は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、強度が著しく低下している。

計		61,487,841	57,732,108	57,732,108	25,111,464	23,395,714
---	--	------------	------------	------------	------------	------------

(470) 山 梨 県

塩山市文珠川34年災害復旧	塩 山 市	3,016,510	2,992,377	2,992,377	350,000	347,200
---------------	-------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

護岸延長71メートルの復旧にあたり、練積石垣413平米の裏込コンクリートは平米当り0.2立米総量82立米を施行したこととしているが、実際はコンクリート45立米とぐり石37立米とを層状に施行しているため、裏込コンクリートとしての強度が著しく低下している。

(471) 長 野 県

松本市北沢川34年災害復旧	松 本 市	3,841,000	3,433,854	3,433,854	335,000	299,490
---------------	-------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

護岸延長140メートルの復旧にあたり、流路の底張りコンクリート37メートルは平張り部厚さ25センチメートル、凸型部厚さ30センチメートルで総量62立米を配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は平張り部は厚さ5センチメートルから10センチメートル程度、凸型部は厚さ10センチメートルから20センチメートル程度を粗悪なもので施行したため底張りコンクリートとしての強度が著しく低下し、全面にわたり破損している状況である。

(472) 同

上伊那郡高遠町町道山室線36年災害復旧	高 遠 町	2,692,000	2,605,856	2,605,856	408,000	394,944
---------------------	-------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

道路延長166メートルの復旧にあたり、路側コンクリート擁壁242立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際はうち56メートルの間67立米はコンクリートの中に多量の玉石を混入し、一部はコンクリートと玉石とが層状をなしており、擁

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円
							壁としての強度が著しく低下している。
	計		6,533,000	6,039,710	6,039,710	743,000	694,434
(473)	岐阜県						
	岐阜市鳥羽川36年 災害復旧	岐阜県	5,192,000	4,371,664	1,660,932	241,000	202,922 (202,922)
							護岸延長 857メートルの復旧にあたり、練石張り 1,134 平米の裏込ぐり石は平米当り 0.3 立米総量 340 立米を施行したこととしているが、実際はうち 706 平米の裏込ぐり石 212 立米は全く施行していないため工事費 241,000 円相当額が出来高不足となっている。
(474)	同						
	揖斐郡谷汲村管瀬 川36年災害復旧	岐阜県	2,530,000	2,130,260	2,130,260	812,000	683,704
							流路延長 249メートルの復旧にあたり、コンクリート三面張り水路 222メートルの側壁 111 立米は配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので施行したためコンクリートとしての強度が低下し、容易に破砕される状況である。
(475)	同						
	武儀郡板取村板取 川災害関連	岐阜県	8,200,000	6,541,000	6,541,000	334,000	266,402
							護岸延長 450メートルの復旧にあたり、練積石垣 1,662 平米の裏込コンクリートは平米当り 0.1 立米総量 166 立米を施行したこととしているが、実際は半量程度で総量 83 立米を施行したにすぎず、工事費 334,000 円相当額が出来高不足となっている。
	計		15,922,000	13,042,924	10,332,192	1,387,000	1,153,028 (202,922)
(476)	三重県						
	南牟婁郡紀和町長 尾川35年災害復 旧	紀和町	7,730,303	7,119,609	7,119,609	417,000	384,057
							流路延長 141メートルの復旧にあたり、練積石垣 520 平米の基礎コンクリート 99 立米は配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は粗悪なコンクリートで施行したため強度が著しく低下し摩耗がはなはだしく、すでに一部は破損している状況である。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円
(477)	滋賀県						
	東浅井郡浅井町草 野川災害助成	滋賀県	6,906,000	6,019,274	6,019,274	643,000	560,438
							護岸延長 216メートルの復旧にあたり、護岸の基礎コンクリート 176 立米、帯工 2 基のコンクリート 56 立米および床止め改良沈床の中詰めコンクリートブロック 75 立米はいずれも配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は基礎コンクリートおよび帯工 1 基計 204 立米は配合比 4:6 程度の玉石コンクリートで施行しており、また、床止め改良沈床の中詰めコンクリートブロックは配合の悪い粗悪なコンクリートで施行しているため強度が低下し、容易に破砕される状況である。
(478)	京都府						
	綾部市上林川34 年災害復旧(454 号)	京都府	8,793,000	7,289,397	7,289,397	626,000	518,954
							護岸延長 276メートルの復旧にあたり、法覆植石コンクリート張り 610 平米のコンクリート 110 立米は配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際はうち 351 平米のコンクリート 63 立米は配合の悪い粗悪なもので施行しているためコンクリートとしての強度が低下し、容易に破砕される状況である。
(479)	同						
	綾部市上林川34年 災害復旧(462号)	京都府	6,450,000	5,347,050	5,347,050	2,151,000	1,783,179
							護岸延長 138メートルの復旧にあたり、法覆H型ブロック張り 931 平米の中詰め植石コンクリート 72 立米および法わく工 393 平米のコンクリート 93 立米は配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は配合の悪い粗悪なもので施行しているためコンクリートとしての強度が低下し、容易に破砕される状況である。
(480)	同						
	北桑田郡京北町桂 川35年災害復旧	京都府	3,299,000	2,200,433	2,200,433	354,000	236,118
							護岸延長 194メートルの復旧にあたり、法わく 19組の中詰め植石コンクリート 940 平米はコンクリート厚さ 15センチメートルで総量 123 立米を施行したこととしているが、実際は厚さ 5センチメートル程度で総量 29 立米を施行したにすぎず、工事費 354,000 円相当額が出来高不足となっている。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

(481) 京都府

船井郡瑞穂町土師 川災害関連	京都府	10,911,000	8,123,165	8,123,165	421,000	313,431	
護岸延長 658メートルの復旧にあたり、植石コンクリート張り 1,481 平米のコンクリート 194 立米は 配合比 1:3:6 で施行したものであるが、うち天ば部分 353 平米のコンクリート 46 立米は 冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結しコンクリートとしての強度が著しく低下しており、容易に破砕される状況である。							
計		29,453,000	22,960,045	22,960,045	3,552,000	2,851,682	

(482) 兵庫県

朝来郡朝来町サケ ヅ川34年災害復旧	朝来町	13,536,000	12,845,664	12,845,664	246,000	233,454	
護岸延長 808 メートルの復旧にあたり、床止めの玉石コンクリート 48 立米は 配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、床止めとしての強度が著しく低下している。							

(483) 同

美方郡村岡町赤谷 川34年災害復旧	村岡町	3,826,000	3,661,482	3,661,482	291,000	278,487	
護岸延長 309 メートルの復旧にあたり、床止めの玉石コンクリート 45 立米は 配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、床止めとしての強度が著しく低下している。							
計		17,362,000	16,507,146	16,507,146	537,000	511,941	

(484) 奈良県

宇陀郡室生村黒岩 川34年災害復旧	奈良県	6,606,000	6,559,758	6,559,758	309,000	306,837	
護岸延長 223 メートルの復旧にあたり、コンクリート擁壁 730 立米および床固めの水たたきコンクリート 38 立米計 768 立米は 配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は 左岸擁壁延長 40 メートルのうち 13 メートルの間 35 立米は 冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し容易に破砕され、また、水たたきは玉石を多量に混入した粗悪なコンクリートで施行しているため、一部はす							

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

でに破損している状況である。

(485) 和歌山県

東牟婁郡本宮町大 塔川35年災害復旧	和歌山県	2,380,000	1,618,400	1,618,400	318,000	216,240	
護岸延長 71 メートルの復旧にあたり、練積石垣 777 平米の胴込コンクリートは 平米 当り 0.18 立米総量 139 立米を施行したこととしているが、実際は 平米 当り 0.08 立米 程度で総量 62 立米を施行したにすぎず、工事費 318,000 円相当額が出来高不足となっ ている。							

(486) 鳥取県

岩美郡国府町袋川 34年災害復旧	鳥取県	3,088,000	2,788,464	2,788,464	491,000	443,373	
護岸延長 130 メートルの復旧にあたり、根固め十字ブロック 130 個は 配合比 1:3:6 のコンクリートで施行したこととしているが、実際はうち 81 個は 多量の玉石および ぐり石を混入して施行したなどのためコンクリートとしての強度が低下し、容易に破 砕される状況である。							

(487) 同

鳥取市小広国谷川 36年災害復旧	鳥取市	931,487	782,449	782,449	931,437	782,449	
護岸延長 75 メートルの復旧にあたり、練積石垣 258 平米は 平米 当り 胴込 コンクリ ート 0.12 立米総量 30 立米、裏込コンクリート 0.15 立米総量 38 立米を、また、帯工 7 基はコンクリート 25 立米をいずれも 配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、 実際は石垣は下部 205 平米の胴込コンクリート 24 立米を 粗悪なれき混りコンクリ ートで 3 割程度施行したにすぎないばかりでなく、裏込コンクリート 30 立米を 全く施 行しておらず、また、帯工は割石を中詰めとして配合の悪い粗悪なコンクリートで被 覆したなどのためいずれも強度が著しく低下している。							

(488) 同

八頭郡若桜町町道 三倉若桜線36年災 害復旧	若桜町	1,334,000	1,300,650	1,300,650	241,000	234,975	
道路延長 144 メートルの復旧にあたり、路側練積石垣 407 平米は 平米 当り 胴込 コンク リート 0.12 立米総量 48 立米、裏込コンクリート 0.1 立米総量 40 立米を施行したこと としているが、実際はうち上部 122 平米の胴込コンクリートは 目地程度を施行したに							

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
			すぎず、下部 284 平米の裏込コンクリートは全く施行していないため、工事費 241,000 円相当額が出来高不足となっている。				
	計		5,353,487	4,871,563	4,871,563	1,663,487	1,460,797
(489)	島根県						
	邑智郡羽須美村 道木須田川 35年災害復旧	羽須美村	1,349,000	914,622	914,622	898,000	608,844
			道路延長 129 メートルの復旧にあたり、路側練積石垣 390 平米は控 35 センチメートルの野づら石を使用し、胴込コンクリート平米当り 0.12 立米総量 46 立米を施行したこととしているが、実際は築石の 8 割程度は控 25 センチメートルから 30 センチメートル程度のものを使用し、また、胴込コンクリートは冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し胴込コンクリートとしての強度がなく、築石が容易に抜き取られる状況である。				
(490)	同						
	鹿足郡日原町道 二又線 36年災害復旧	日原町	376,945	326,434	326,434	376,945	326,434
			道路延長 35 メートルの復旧にあたり、路側練積石垣 112 平米は胴込コンクリート平米当り 0.12 立米総量 13 立米を施行したものであるが、冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し胴込コンクリートとしての強度がなく、築石が容易に抜き取られる状況である。				
	計		1,725,945	1,241,056	1,241,056	1,274,945	935,278
(491)	徳島県						
	徳島市今切川 36年災害復旧	徳島県	6,343,855	5,734,844	5,734,844	428,000	386,912
			護岸延長 64 メートルの復旧にあたり、うち 44 メートルの天ばコンクリートおよび裏法コンクリート張り 295 平米は厚さ 20 センチメートル総量 59 立米を施行したものであるが、いずれも盛土のつき固めが不十分なまま施行したため、盛土が平均 4 センチメートル程度沈下して、コンクリートにき裂を生じている状況である。				
(492)	同						
	勝浦郡上勝町勝浦 川 36年災害復旧	徳島県	2,469,417	2,348,415	2,348,415	724,000	688,524
			えん堤延長 31 メートルの復旧にあたり、えん体の玉石コンクリート 411 立米は配合比				

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
			5:5 で施行したこととしているが、実際はうち左岸そで部 177 立米は粗悪なコンクリートで施行したばかりでなく、玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空けきを生じ、強度が著しく低下している。				
(493)	徳島県						
	美馬郡脇町江谷 34年災害復旧	徳島県	1,163,674	825,044	825,044	308,000	218,372
			えん堤延長 35 メートルの復旧にあたり、水たたきの玉石コンクリート 114 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空けきを生じ、水たたきとしての強度が著しく低下している。				
	計		9,976,946	8,908,303	8,908,303	1,460,000	1,293,808
(494)	高知県						
	高知市新川川 35年災害復旧	高知県	3,339,731	2,347,830	2,347,830	285,000	200,355
			護岸延長 215 メートルの復旧にあたり、コンクリートブロック積み 933 平米の胴込コンクリートは平米当り 0.14 立米総量 130 立米を配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際はうち 546 平米の胴込コンクリート 76 立米は粗悪なコンクリートで半量程度を施行したにすぎず、強度が著しく低下している。				
(495)	同						
	宿毛市松田川地盤 変動対策	高知県	27,558,769	18,372,512	18,372,512	3,958,000	2,638,666
			導流堤延長 499 メートルの施行にあたり、護岸コンクリート矢板延長 483 メートルは相じゃくり矢板で地盤に 2 メートルから 2.5 メートル打ち込みかさ木コンクリートの中央部に 20 センチメートルそり入して施行したこととしているが、実際はうち 157 メートルの間は施行が粗雑で矢板は不規則な打込みとなり、矢板相互間にすき間を生じたり、かさ木コンクリートにそり入されていなかったりして著しく不ぞろいとなっており、また、矢板の一部は破損している状況である。				
(496)	同						
	室戸市佐喜浜川災 害関連	高知県	3,422,027	2,829,193	2,829,193	289,000	238,933
			護岸延長 116 メートルの復旧にあたり、根固め十字ブロック 146 個は配合比 1:3:				

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
							6のコンクリートで施行したこととしているが、実際はうち39個は配合の悪い粗悪なコンクリートで施行したため根固め十字ブロックとしての強度が低下し、容易に破砕される状況である。
計			34,320,527	23,549,535	23,549,535	4,532,000	3,077,954
(497)	福岡県						
	福岡市那珂川35年災害復旧	福岡県	505,000	336,835	336,835	500,000	333,500
							護岸延長40メートルの復旧にあたり、鉄線じゃかごの詰石は径15センチメートルから25センチメートル程度のもので総量91立米を施行したこととしているが、実際は1割程度が不足しているばかりでなく、4割程度は規格外の小径のもので施行しており、すでに数箇所じゃかごから脱落している状況である。
(498)	同						
	糸島郡志摩村火山川34年災害復旧	志摩村	11,048,000	10,849,136	10,342,187	739,000	725,698 (506,949)
							護岸延長873メートルの復旧にあたり、床止め7基およびコンクリートブロック積み基礎コンクリート366立米はいずれも配合比1:3:6で、また、練積石垣707平米の胴込コンクリートは平米当たり0.12立米から0.23立米で総量110立米を施行したこととしているが、実際は床止めおよび基礎コンクリートは現場付近で採取した玉石を使用し配合比3:7程度の玉石コンクリートで施行しており、また、胴込コンクリートは半量程度で総量55立米を施行したにすぎず、工事費739,000円相当額が出来高不足などとなっている。
計			11,553,000	11,185,971	10,679,022	1,239,000	1,059,198 (506,949)
(499)	熊本県						
	阿蘇郡阿蘇町黒川災害助成	熊本県	6,574,000	4,384,858	4,384,858	1,826,000	1,217,942
							護岸延長333メートルの復旧にあたり、ぐり石粗だ工1,489平米は粗だ1,340束、切込砂利平米当たり0.1立米総量148立米およびコンクリート法わく工352平米のコンクリート56立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際は粗だおよび切込砂利は全く施行していないばかりでなく、コンクリート法わく工は配合の悪い粗悪なもので33立米を施行したにすぎないなどのため、法覆工としての効果が著しく減

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
							殺されている。
(500)	大分県						
	日田郡大山村大山川35年災害復旧	大分県	1,681,842	1,121,788	1,121,788	958,000	638,986
							護岸延長130メートルの復旧にあたり、鉄線じゃかごの詰石は径18センチメートルから25センチメートル程度のもので総量407立米を施行したこととしているが、実際は1割程度が不足しているばかりでなく、4割程度は規格外の小径のもので施行しており、すでに数箇所じゃかごから脱落している状況である。
(501)	宮崎県						
	西都市三納川36年災害復旧	宮崎県	3,671,000	2,562,358	2,562,358	339,000	236,622
							護岸延長146メートルの復旧にあたり、練張りコンクリートブロック610平米の胴込コンクリートは平米当たり0.14立米総量85立米を配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際はコンクリートは配合の悪い粗悪なもので施行したため、胴込コンクリートとしての強度が著しく低下している。
(502)	同						
	北諸郡三股町寺柱川災害関連	宮崎県	5,460,000	3,730,804	1,708,000	1,378,000	941,583 (941,583)
							流路延長126メートルの復旧にあたり、床止めの玉石コンクリート261立米は配合比4:6で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空けきを生じ、床止めとしての強度が著しく低下している。
計			9,131,000	6,293,162	4,270,358	1,717,000	1,178,205 (941,583)
	(一般会計の分)合計		380,483,611	296,117,222	288,731,413	63,981,896	52,571,017 (3,601,932)
	(道路整備特別会計の分)						
(503)	青森県						
	黒石市2級国道八戸弘前線道路改良(凍雪害防止)	青森県	8,190,348	4,095,174	4,095,174	1,995,000	997,500
							道路延長1,700メートルの改良にあたり、路盤9,350平米の砂は厚さ10センチメー

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

ルで総量 935 立米、切込砂利は厚さ 25 センチメートルで総量 2,337 立米を施行したこととしているが、実際は砂は全く施行していないばかりでなく、切込砂利は厚さ 20 センチメートル程度で総量 1,870 立米を施行したにすぎず、工事費 1,995,000 円相当額が出来高不足となっている。

(504) 青 森 県

南津軽郡碓ヶ関村 1級国道7号線道 路改良(凍雪害防 止)	青 森 県	11,045,526	5,522,763	5,522,763	1,634,000	817,000
--	-------	------------	-----------	-----------	-----------	---------

道路延長 2,042 メートルの改良にあたり、路盤 11,232 平米の切込砂利は厚さ 30 センチメートルで総量 3,369 立米を施行したこととしているが、実際は厚さ 20 センチメートル程度で総量 2,246 立米を施行したにすぎず、工事費 1,634,000 円相当額が出来高不足となっている。

計		19,235,874	9,617,937	9,617,937	3,629,000	1,814,500
---	--	------------	-----------	-----------	-----------	-----------

(505) 岩 手 県

気仙郡三陸村2級 国道八戸仙台線道 路改良	岩 手 県	19,806,107	14,854,580	14,854,580	609,000	456,750
-----------------------------	-------	------------	------------	------------	---------	---------

道路延長 1,219 メートルの改良にあたり、練石張り側溝 1,583 メートルのうち 402 メートルは控 20 センチメートルの雑石を使用し胴込コンクリートメートル当り 0.13 立米総量 52 立米を施行したこととしているが、実際は張石の 2 割程度は控 15 センチメートル以下のものを使用し、胴込コンクリートは冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し胴込コンクリートとしての強度がなく、張石が容易に抜き取られる状況であり、また、路盤 7,051 平米のうち 1,381 平米の砕石は厚さ 30 センチメートルで総量 414 立米を施行したこととしているが、実際は厚さ 20 センチメートル程度で総量 276 立米を施行したにすぎない。

(506) 秋 田 県

由利郡仁賀保町都 市計画街路鈴琴浦 線道路改良	仁 賀 保 町	5,818,140	3,878,760	3,878,760	606,000	404,000
-------------------------------	---------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

街路延長 412 メートルの改良にあたり、路面 4,128 平米の上敷砕石は厚さ 10 センチメートルで総量 412 立米を施行したこととしているが、実際は 1,044 平米総量 104 立米を施行したにすぎず、工事費 606,000 円相当額が出来高不足となっている。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

(507) 千 葉 県

東葛飾郡沼南村 道船橋取手線道路 改良	千 葉 県	7,867,000	5,244,666	5,244,666	718,000	478,666
---------------------------	-------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

道路延長 720 メートルの改良にあたり、路面 4,030 平米の砕石は厚さ 18 センチメートルで総量 725 立米を施行したこととしているが、実際はうち 3,510 平米は厚さ 13 センチメートル程度で総量 456 立米を施行したにすぎず、工事費 718,000 円相当額が出来高不足となっている。

(508) 同

東葛飾郡沼南村2 級国道東京環状線 道路改良	千 葉 県	17,911,000	13,433,250	13,433,250	704,000	528,000
------------------------------	-------	------------	------------	------------	---------	---------

道路延長 1,092 メートルの改良にあたり、路面 4,500 平米の砕石は厚さ 20 センチメートルで総量 900 立米を施行したこととしているが、実際は厚さ 15 センチメートル程度で総量 675 立米を施行したにすぎず、工事費 704,000 円相当額が出来高不足となっている。

計		25,778,000	18,677,916	18,677,916	1,422,000	1,006,666
---	--	------------	------------	------------	-----------	-----------

(509) 石 川 県

羽咋郡志賀町県道 田鶴浜堀松線道路 改良	石 川 県	5,102,876	3,401,917	3,401,917	950,000	633,333
----------------------------	-------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

道路延長 720 メートルの改良にあたり、U型側溝 684 メートルおよびL型側溝 87 メートルのコンクリート計 115 立米は配合比 1:3:6 で施行したこととしているが、実際は骨材に土砂を混入した配合の悪い粗悪なもので施行したためコンクリートとしての強度が低下し、容易に破砕される状況である。

(510) 山 梨 県

南巨摩郡身延町2 級国道清水上田線 道路防災	山 梨 県	2,951,158	1,475,579	1,475,579	497,000	248,500
------------------------------	-------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

ずい道延長 105 メートルの漏水防止にあたり、防水モルタル吹付け 1,309 平米は厚さ 3 センチメートルで総量 39 立米を施行したこととしているが、実際はうち側壁下部 341 平米の吹付け 10 立米は巻立てコンクリート表面のはつりが不十分であったためモルタルが既設巻立面と分離し、また、各所にき裂を生じている状況である。

道府県名	工 事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円
(511)	岐 阜 県						
	多治見市都市計画 街路多治見土岐津 線街路改良	岐 阜 県	15,472,000	10,314,666	10,314,666	397,000	264,666
	街路延長730メートルの改良にあたり、路床1,967平米の切込砂利は厚さ30センチメートルで総量590立米を施行したこととしているが、実際は厚さ15センチメートル程度で総量295立米を施行したにすぎず、工事費397,000円相当額が出来高不足となっている。						
(512)	愛 知 県						
	碧南市都市計画街 路中松平七線舗装 新設	碧 南 市	3,588,621	2,392,414	2,392,414	605,000	403,333
	街路延長339メートルの舗装にあたり、アスファルト舗装2,517平米の路床の砂は厚さ20センチメートルで総量503立米を施行したこととしているが、実際はうち491平米の砂98立米はねん土を混入したもので半量程度を施行したにすぎず、路盤の支持力が低下しアスファルト舗装の各所にき裂を生じている状況である。						
(513)	三 重 県						
	四日市市市道Ⅱ.2 14稲葉町内部線舗 装新設	四 日 市 市	7,274,913	4,849,942	4,849,942	805,000	536,666
	街路延長729メートルの舗装にあたり、路盤4,347平米の水締めマカダムは径2センチメートルから6センチメートルの碎石と径2センチメートル以下の目つぶし碎石とを使用し厚さ10センチメートルで総量434立米を施行したこととしているが、実際は切込砂利で施行したため工事費805,000円相当額が出来高不足となっている。						
(514)	滋 賀 県						
	坂田郡伊吹村県道 長浜関ヶ原線道路 改良	滋 賀 県	21,393,000	14,262,000	14,262,000	894,000	596,000
	道路延長2,309メートルの改良にあたり、うち720メートル間の路盤4,906平米の切込砂利は厚さ30センチメートルで総量1,471立米、また、1,120メートル間の路面7,836平米は並砂利、砂、山土を混合して厚さ12センチメートルで総量940立米を施行したこととしているが、実際は路盤は平均厚さ23センチメートル程度で総量1,158立米、また、路面は切込砂利で施行したにすぎず、工事費894,000円相当額が出来高不足となっている。						

道府県名	工 事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円
(515)	京 都 府						
	京都市府道宇多野 嵐山控原線道路改 良	京 都 市	20,021,000	13,347,333	13,347,333	359,000	239,333
	道路延長1,100メートルの改良にあたり、練積石垣3,069平米のうち902平米の胴込コンクリートは平米当たり0.175立米総量157立米を施行したこととしているが、実際は半量程度で総量79立米を施行したにすぎず、工事費359,000円相当額が出来高不足となっている。						
(516)	高 知 県						
	須崎市2級国道松 山高知線道路改良 (2の1)	高 知 県	10,633,490	7,975,117	7,975,117	473,000	354,750
	道路延長908メートルの改良にあたり、路盤6,190平米の切込砂利は厚さ16センチメートルまたは32センチメートルで総量1,277立米を施行したこととしているが、実際は半量程度で総量638立米を施行したにすぎず、工事費473,000円相当額が出来高不足となっている。						
(517)	同						
	須崎市2級国道松 山高知線道路改良 (2の3)	高 知 県	27,856,131	20,892,098	20,892,098	693,000	519,750
	道路延長835メートルの改良にあたり、路盤4,720平米の切込砂利は厚さ16センチメートルまたは32センチメートルで総量1,174立米を施行したこととしているが、実際は半量程度で総量587立米を施行したにすぎず、工事費693,000円相当額が出来高不足となっている。						
	計		38,489,621	28,867,215	28,867,215	1,166,000	874,500
(518)	福 岡 県						
	朝倉郡三輪町県道 福岡日田線舗装補 修	福 岡 県	3,464,900	1,732,450	1,732,450	730,000	365,000
	道路延長270メートルの補修にあたり、路盤1,844平米の切込砂利は厚さ30センチメートルで総量553立米を施行したものであるが、実際はうち458平米の切込砂利137立米は土混りのもので施行しており、また、転圧が不十分であったため、路盤の支持力が低下しアスファルトコンクリート舗装の各所にき裂を生じている状況である。						

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
(519)	熊本県						
	阿蘇郡一の宮町 道別府一の宮線 路改良	熊本県	17,132,000	11,421,333	11,421,333	406,000	270,666
	<p>道路延長1,880メートルの改良にあたり、路盤8,398平米は切込砂利および切取岩片で厚さ40センチメートル総量3,359立米を、また、U型側溝792メートルのコンクリートは底厚15センチメートルで総量221立米を施行したこととしているが、実際は路盤のうち2,828平米は厚さ30センチメートル程度で総量3,076立米を、また、U型側溝のうち577メートルは底厚平均12センチメートル程度で総量181立米を施行したにすぎず、工事費406,000円相当額が出来高不足となっている。</p>						
	(道路整備特別会計の分)合計		205,528,210	139,094,042	139,094,042	13,075,000	8,113,913
	(治水特別会計の分)						
(520)	青森県						
	東津軽郡平内町清 水川通常砂防	青森県	3,453,726	2,302,484	2,302,484	901,000	600,666
	<p>流路延長206メートルの新設にあたり、えん堤および垂直壁の玉石コンクリート計162立米は配合比5:5で施行したものであるが、冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し、えん堤および垂直壁としての強度が著しく低下している。</p>						
(521)	宮城県						
	玉造郡鳴子町小 沢通常砂防	宮城県	4,598,899	3,065,932	3,065,932	3,722,000	2,481,333
	<p>えん堤延長51メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート799立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ30センチメートルまたは40センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、えん堤としての強度が著しく低下している。</p>						
(522)	同						
	玉造郡鳴子町鷹ノ 巣通常砂防	宮城県	2,244,621	1,496,414	1,496,414	2,244,621	1,496,414
	<p>えん堤延長30メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート330立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石として不適格な軟岩を多量に使用</p>						

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
	<p>し玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ20センチメートルまたは30センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、えん堤としての強度が著しく低下している。</p>						
	計		6,843,520	4,562,346	4,562,346	5,966,621	3,977,747
(523)	秋田県						
	雄勝郡羽後町西馬 音内川中小河川改 修	秋田県	16,721,342	8,360,671	8,360,671	3,091,000	1,545,500
	<p>護岸延長617メートルの改修にあたり、法わく工の中張りコンクリートは厚さ10センチメートルで総量363立米を配合比1:3:6で、また、中張りの裏込ぐり石は厚さ30センチメートルで総量1,085立米を施行したこととしているが、実際は中張りコンクリートは配合の悪い粗悪なもので厚さ5センチメートルから7センチメートル程度を施行したにすぎず、容易に破碎される状況であり、また、裏込ぐり石は現場付近で採取した不適格な河床土混じりのものを使用し厚さも不均一でコンクリートが密着していない。</p>						
(524)	同						
	河辺郡河辺町岩見 川中小河川改修	秋田県	6,346,426	3,173,213	3,173,213	807,000	403,500
	<p>護岸延長206メートルの改修にあたり、法わく工の石張りコンクリート1,224平米の胴込コンクリートは平米当り0.05立米総量61立米を施行したものであるが、冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し胴込コンクリートとしての強度がなく、張石が容易に抜き取られる状況である。</p>						
(525)	同						
	北秋田郡森吉町阿 仁川中小河川改修	秋田県	3,486,480	1,743,240	1,743,240	705,000	352,500
	<p>護岸延長85メートルの改修にあたり、法わく工505平米のコンクリート133立米は配合比1:3:6で施行したものであるが、冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結しコンクリートとしての強度が低下しており、容易に破碎される状況である。</p>						
(526)	同						
	南秋田郡五城目町 千日川通常砂防	秋田県	9,021,000	6,014,000	6,014,000	1,637,000	1,091,333

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち87年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
	えん堤延長 40 メートルの新設にあたり、副えん堤は硬土砂 110 立米、中硬岩 95 立米を切り取り、玉石コンクリート 136 立米を打設してえん体の両そで部および底部をいづれも岩盤に突っ込むこととしているが、岩盤線が設計よりも後退しているのに施行にあたってこれを考慮しなかったばかりでなく、中硬岩切り取りおよび玉石コンクリートの施行量が設計に対しても不足していたため、えん体の両そで部および底部はわずかに突っ込んだにすぎない結果となっており、副えん堤としての強度が著しく低下している。						
	計		35,575,248	19,291,124	19,291,124	6,240,000	3,392,833
(527)	福島県						
	常磐市湯本川通常砂防	福島県	9,490,290	6,326,860	6,326,860	571,000	380,666
	流路延長 276 メートルの新設にあたり、練積石垣 1,156 平米の胴込コンクリートは平米当たり 0.18 立米総量 208 立米を施行したこととしているが、実際は平米当たり 0.08 立米程度で総量 92 立米を施行したにすぎず、工事費 571,000 円相当額が出来高不足となっている。						
(528)	新潟県						
	南魚沼郡六日町四日川通常砂防	新潟県	4,946,561	3,297,707	3,297,707	479,000	319,333
	流路延長 367 メートルの新設にあたり、練積石垣 1,296 平米は胴込コンクリート平米当たり 0.12 立米総量 155 立米を施行したものであるが、うち下部石積み 312 平米は胴込コンクリートのつき固めが不十分で、工事中の出水により築石の胴裏部に泥土が浸入したため胴込コンクリートとしての強度がなく、築石が容易に抜き取られる状況である。						
(529)	富山県						
	下新川郡宇奈月町宇奈月谷川通常砂防	富山県	3,203,120	2,135,413	2,135,413	486,000	324,000
	流路延長 88 メートルの新設にあたり、練積石垣 596 平米は胴込コンクリート平米当たり 0.1 立米総量 59 立米を施行したものであるが、うち下部 417 平米の胴込コンクリートは冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し胴込コンクリートとしての強度がなく、築石が容易に抜き取られる状況である。						

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち87年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
(530)	福井県						
	大野市赤根川緊急砂防	福井県	2,918,445	1,945,630	1,945,630	2,918,445	1,945,630
	えん堤延長 33 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 543 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げき生じ、えん堤としての強度が著しく低下している。						
(531)	同						
	大野市美濃俣川特殊緊急砂防	福井県	5,720,774	3,813,849	3,813,849	2,943,000	1,962,000
	えん堤延長 26 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 755 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際はうち左岸側 429 立米は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ 45 センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。						
(532)	同						
	勝山市奥河内川特殊緊急砂防	福井県	5,034,620	3,356,413	3,356,413	5,034,620	3,356,413
	えん堤延長 26 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 934 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ 1.5 メートル程度の玉石コンクリートで被覆したにすぎず、えん堤として強度が著しく低下している。						
(533)	同						
	南条郡今庄町高倉谷川通常砂防	福井県	4,729,928	3,153,285	3,153,285	4,729,928	3,153,285
	えん堤延長 31 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 569 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、えん堤としての強度が著しく低下している。						
(534)	同						
	丹生郡越廼村蒲生大川緊急砂防	福井県	3,506,900	2,337,933	2,337,933	1,130,000	753,333
	えん堤延長 23 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 348 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は左岸側 173 立米は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、強度が著しく低下						

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

している。

計			21,910,667	14,607,110	14,607,110	16,755,993	11,170,661
---	--	--	------------	------------	------------	------------	------------

(535) 山梨県

南巨摩郡諏訪町中 河原川特殊緊急砂 防	山梨県		6,913,821	4,609,214	4,609,214	884,000	589,333
---------------------------	-----	--	-----------	-----------	-----------	---------	---------

えん堤延長 39 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 1,164 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、うち両そで部 187 立米は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ 20 センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。

(536) 長野県

下伊那郡南信濃村 八重河内川通常砂 防	長野県		6,820,000	4,546,666	4,546,666	3,001,000	2,000,666
---------------------------	-----	--	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長 45 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 1,085 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際はうち上部 590 立米は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ 30 センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。

(537) 静岡県

庵原郡富士川町有 無瀬川通常砂防	静岡県		3,297,000	2,198,000	2,198,000	1,747,000	1,164,666
---------------------	-----	--	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

流路延長 86 メートルの改良にあたり、床止め 2 基 231 立米、帯工 1 基 36 立米総量 267 立米の玉石コンクリートは配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、床止めおよび帯工としての強度が著しく低下している。

(538) 同

賀茂郡賀茂村浜川 緊急砂防	静岡県		3,978,000	2,652,000	2,652,000	957,000	638,000
------------------	-----	--	-----------	-----------	-----------	---------	---------

えん堤延長 29 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 572 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際はうち上部 187 立米は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、強度が著しく低下している。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円

(539) 静岡県

賀茂郡賀茂村不動 尊川緊急砂防	静岡県		3,695,000	2,463,333	2,463,333	2,196,000	1,464,000
--------------------	-----	--	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長 37 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 323 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、えん堤としての強度が著しく低下している。

計			10,970,000	7,313,333	7,313,333	4,900,000	3,266,666
---	--	--	------------	-----------	-----------	-----------	-----------

(540) 愛知県

瀬戸市片草川通常 砂防	愛知県		3,926,083	2,617,388	2,617,388	693,000	462,000
----------------	-----	--	-----------	-----------	-----------	---------	---------

えん堤延長 52 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 678 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は上部 124 立米は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、また、一部は冬期間の施行であるにもかかわらず養生が不十分であったため凍結し、強度が著しく低下している。

(541) 同

東加茂郡下山村大 沼川通常砂防	愛知県		4,386,824	2,924,549	2,924,549	326,000	217,333
--------------------	-----	--	-----------	-----------	-----------	---------	---------

流路延長 240 メートルの改良にあたり、擁壁コンクリート 275 立米は配合比 1:3:6 で施行したものであるが、うち 23 立米は水替えが不十分であったなどのため、モルタルが流出し伏流水が漏水している状況である。

計			8,312,907	5,541,937	5,541,937	1,019,000	679,333
---	--	--	-----------	-----------	-----------	-----------	---------

(542) 三重県

阿山郡伊賀町大谷 川通常砂防	三重県		2,177,000	1,451,333	1,451,333	2,177,000	1,451,333
-------------------	-----	--	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長 32 メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート 424 立米は配合比 5:5 で施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ 10 センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、えん堤としての強度が著しく低下している。

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
(543)	三	重 県					
	三重郡菟野町友谷川緊急砂防	三重 県	10,385,451	6,923,634	6,923,634	2,081,000	1,387,333
	えん堤延長64メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート1,212立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際はうち両そでの上部285立米は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ20センチメートルまたは30センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。						
	計		12,562,451	8,374,967	8,374,967	4,258,000	2,838,666
(544)	兵	庫 県					
	川西市大谷川緊急砂防	兵庫 県	2,778,000	1,852,000	1,852,000	829,000	552,666
	えん堤延長27メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート321立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際はうち上部143立米は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ30センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。						
(545)	同						
	川西市黒川通常砂防	兵庫 県	8,414,725	5,609,816	5,609,816	1,425,000	950,000
	流路延長295メートルの新設にあたり、練積石垣1,857平米は胴込コンクリート平米当り0.18立米総量334立米を配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際はうち381平米の胴込コンクリート68立米は配合の悪い粗悪なもので施行したためコンクリートとしての強度が低下し、築石が容易に抜き取られる状況である。						
(546)	同						
	川西市大堂川通常砂防	兵庫 県	3,200,000	2,133,333	2,133,333	1,564,000	1,042,666
	えん堤延長38メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート474立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際はうち上部247立米は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空けきを生じ、強度が著しく低下している。						
(547)	同						
	洲本市禪寺川通常砂防	兵庫 県	3,448,000	2,298,666	2,298,666	390,000	260,000

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 <small>(うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)</small>
			円	円	円	円	円
	流路延長153メートルおよび床止め2基の新設にあたり、床止め2基の玉石コンクリート82立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は多量の玉石を中詰めとし、これを厚さ10センチメートルから30センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、床止めとしての強度が著しく低下している。						
(548)	兵	庫 県					
	津名郡淡路町大谷川通常砂防	兵庫 県	2,959,100	1,972,732	1,972,732	472,000	314,666
	えん堤延長31メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート530立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際はうち両そで部90立米は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ30センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。						
(549)	同						
	氷上郡青垣町芦田川通常砂防	兵庫 県	1,413,078	942,052	942,052	1,095,000	730,000
	えん堤延長17メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート251立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空けきを生じ、えん堤としての強度が著しく低下している。						
	計		22,212,903	14,808,599	14,808,599	5,775,000	3,849,998
(550)	奈	良 県					
	吉野郡川上村下多古川特殊緊急砂防	奈良 県	14,171,996	9,447,997	9,447,997	483,000	322,000
	えん堤延長49メートルの新設にあたり、水たたきの玉石コンクリートは配合比5:5で厚さ1.3メートル総量375立米を施行したこととしているが、実際は厚さ90センチメートル程度で総量258立米を施行したにすぎず、工事費483,000円相当額が出来高不足となっている。						
(551)	徳	島 県					
	板野郡上板町泉谷川通常砂防	徳島 県	13,731,582	10,207,305	10,207,305	5,269,000	3,916,686
	流路延長501メートルの施行にあたり、護岸の植石コンクリート2,010平米総量464立米およびカーテンブロックのアンカー190立米はいずれも配合比1:3:6で、また、						

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

床止め1基の玉石コンクリート491立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は植石コンクリートおよびカーテンブロックのアンカーは配合の悪い粗悪なコンクリートで施行したためコンクリートとしての強度がなく容易に破砕され、また、床止めは多量の玉石を中詰めとし、これを厚さ20センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。

(552) 徳島県

板野郡上板町盗人 谷川通常砂防	徳島県	2,942,232	1,961,488	1,961,488	860,000	573,333
--------------------	-----	-----------	-----------	-----------	---------	---------

流路延長126メートルの新設にあたり、床止め2基の玉石コンクリート総量159立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は多量の玉石を中詰めとしこれを厚さ20センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、床止めとしての強度が著しく低下している。

(553) 同

板野郡上板町盗人 谷川緊急砂防	徳島県	8,271,707	5,514,471	5,514,471	8,271,707	5,514,471
--------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長41メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート1,153立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、えん堤としての強度が著しく低下している。

(554) 同

那賀郡木頭村那賀 川通常砂防	徳島県	3,600,000	2,400,000	2,400,000	3,600,000	2,400,000
-------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長34メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート832立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、強度が著しく低下している。

(555) 同

三好郡三加茂町大 藤谷通常砂防	徳島県	3,330,000	2,220,000	2,220,000	3,330,000	2,220,000
--------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長34メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート615立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は粗悪なコンクリートで施行したばかりでなく、玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

げきを生じ、強度が著しく低下している。

計			31,875,521	22,303,264	22,303,264	21,330,707	14,624,490
---	--	--	------------	------------	------------	------------	------------

(556) 福岡県

八幡市平野川通常 砂防	福岡県	3,761,700	2,507,800	2,507,800	3,761,700	2,507,800
----------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長41メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート662立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際はうち下部472立米は玉石195立米を中詰めとし、これを厚さ20センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、えん堤としての強度が著しく低下している。

(557) 熊本県

阿蘇郡小国町汐井 川通常砂防	熊本県	5,293,000	3,528,666	3,528,666	5,200,000	3,466,666
-------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長57メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート683立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ40センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。

(558) 同

阿蘇郡白水村保手 ヶ谷川通常砂防	熊本県	3,900,000	2,600,000	2,600,000	2,166,000	1,444,000
---------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長37メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート392立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ20センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。

(559) 同

天草郡五和町鬼池 川通常砂防	熊本県	2,250,000	1,500,000	1,500,000	2,216,000	1,477,333
-------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長27メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート508立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空げきを生じ、強度が著しく低下している。

(560) 同

上益城郡益城町木 山川通常砂防	熊本県	3,828,000	2,552,000	2,552,000	3,828,000	2,552,000
--------------------	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

副えん堤延長48メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート670立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ30センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、えん堤としての強度が著しく低下している。

(561) 熊 本 県

上益城郡矢部町水 の宇土川通常砂防	熊 本 県	3,820,000	2,546,666	2,546,666	3,820,000	2,546,666
----------------------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長29メートルの新設にあたり、えん堤の玉石コンクリート557立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は主、副えん体479立米は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ30センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、また、水たたき42立米は転石を積み重ねた上にわずかにコンクリートを敷きならしたにすぎないため、えん堤としての強度が著しく低下している。

(562) 同

鹿本郡菊鹿村内田 川通常砂防	熊 本 県	7,217,000	4,811,333	4,811,333	4,922,000	3,281,333
-------------------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長54メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート1,064立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石を多量に使用し玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ20センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、えん堤としての強度が著しく低下している。

(563) 同

球磨郡山江村葛谷 川通常砂防	熊 本 県	2,704,000	1,802,666	1,802,666	2,704,000	1,802,666
-------------------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長46メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート548立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石と玉石との間にコンクリートのつき固めが不十分であったため内部に空けきを生じ、強度が著しく低下している。

(564) 同

球磨郡湯前町藪谷 川通常砂防	熊 本 県	6,035,000	4,023,333	4,023,333	5,806,000	3,870,666
-------------------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長51メートルの新設にあたり、えん体および水たたきの玉石コンクリート1,271立米は配合比5:5で、また、側壁のコンクリート69立米は配合比1:3:6で施行したこととしているが、実際はいずれも土混りの配合の悪い粗悪なコンクリート

道府県名	工事	事業主体	工事費	左に対する 国庫負担金	左のうち36 年度までの 交付済額	工事費から 除外すべき 額	左に対する 国庫負担金 相当額 (うち37年度 以降交付予 定額中減額 を要する額)
			円	円	円	円	円

で施行しているため、えん堤としての強度が著しく低下している。

(565) 熊 本 県

玉名郡三加和村十 町川通常砂防	熊 本 県	3,880,000	2,586,666	2,586,666	3,880,000	2,586,666
--------------------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長58メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート791立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ30センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。

計		38,927,000	25,951,330	25,951,330	34,542,000	23,027,996
---	--	------------	------------	------------	------------	------------

(566) 宮 崎 県

北諸県郡中郷村大 矢取川通常砂防	宮 崎 県	4,193,000	2,795,333	2,795,333	2,823,000	1,882,000
---------------------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

えん堤延長51メートルの新設にあたり、えん体の玉石コンクリート470立米は配合比5:5で施行したこととしているが、実際は玉石の層とコンクリートの層とに分離して打設し、これを厚さ20センチメートル程度のコンクリートで被覆したにすぎず、強度が著しく低下している。

(治水特別会計の分)合計		246,144,431	155,181,547	155,181,547	114,177,021	75,754,854
--------------	--	-------------	-------------	-------------	-------------	------------

総 合 計		832,156,252	590,392,811	583,007,002	191,233,917	136,439,784 (3,601,932)
-------	--	-------------	-------------	-------------	-------------	----------------------------

付表第 1 昭和 36 年度一般会計決算未確認額表 (昭和 37 年 12 月 1 日現在)

歳出、所管、組織、項	証 明 庁 金	額	事	由
出		円		円
総 理 府				
(組織) 防 衛 本 庁				
(項) 防 衛 本 庁	防衛庁調達実施本部	5,679,969,213	{前金払の精算未了 概算払の精算未了	5,053,969,213 626,000,000
(項) 航空機購入費	同	11,816,369,848	{前金払の精算未了 概算払の精算未了	1,088,659,848 10,727,710,000
(項) 施設整備費	防衛庁福岡建設部	17,940,000	回答済調査中	
(項) 艦船建造費	防衛庁調達実施本部	812,977,463	前金払の精算未了	
(項) 昭和34年度乙型警備艦建造費	同	2,828,941	同	
(項) 昭和34年度潜水艦建造費	同	462,700,000	同	
(項) 昭和35年度潜水艦建造費	同	793,080,000	同	
(項) 昭和36年度乙型警備艦建造費	同	691,208,856	同	
(項) 昭和36年度潜水艦建造費	同	410,352,280	同	
(項) 施設整備等附帯事務費	同	369,450	同	
(組織) 調 達 庁				
(項) 国際連合軍等関係補償費	広 島 県	18,000,000	回答済調査中	
計		20,705,796,051	{前金払の精算未了 概算払の精算未了 回答済調査中	9,316,146,051 11,353,710,000 35,940,000

付表第 2 昭和 36 年度各特別会計決算未確認額表 (昭和 37 年 12 月 1 日現在)

所管、会計名、歳出、項	証 明 庁	金 額	事 由
		円	
建設省			
道路整備歳出			
(項) 道路事業費	関東地方建設局	1,189,180	不正行為に関し調査中

付表第 3 既往年度一般会計決算未確認額表 (昭和 37 年 12 月 1 日現在)

年度、歳出、所管、組織、項	前年度までの 未確認額	本年度確認額	未 確 認 残 額		
			金 額	証 明 庁	事 由
	円	円	円		
昭和32年度					
歳 出					
総 理 府					
(組織) 防 衛 庁					
(項) 防 衛 庁	791,744,564	6,524,993	785,219,571	防衛庁調 達実施本 部	前金払の精算未了 647,230,316 概算払の精算未了 137,989,255
昭和33年度					
歳 出					
総 理 府					
(組織) 防 衛 庁					
(項) 防 衛 庁	1,816,800,435	127,204,477	1,689,595,958	防衛庁調 達実施本 部	前金払の精算未了 1,482,847,958 概算払の精算未了 206,748,000
昭和34年度					
歳 出					
総 理 府					
(組織) 防 衛 本 庁					
(項) 防 衛 本 庁	5,474,402,049	962,363,096	4,512,038,953	防衛庁調 達実施本 部	前金払の精算未了 2,648,738,453 概算払の精算未了 1,863,300,500
(項) 昭和34年度 乙型警備艦 建造費	414,964,584	412,200,000	2,764,584	同	前金払の精算未了
(項) 昭和34年度 潜水艦建造 費	462,700,000	0	462,700,000	同	同
計	6,352,066,633	1,374,563,096	4,977,503,537		
昭和35年度					
歳 出					
総 理 府					
(組織) 防 衛 本 庁					
(項) 防 衛 本 庁	11,072,653,625	1,687,857,129	9,384,796,496	防衛庁調 達実施本 部	前金払の精算未了 5,868,881,496 概算払の精算未了 3,515,915,000
(項) 艦船建造費	684,733,397	580,641,294	104,092,103	同	前金払の精算未了
(項) 潜水艦建造 費	552,193	0	552,193	同	同

年度、歳出、所管、組織、項	前年度までの 未確認額 円	本年度確認額 円	未 確 認 残 額			
			金 額 円	証 明 庁	事	由 円
(項) 昭和34年度 乙型警備艦 建造費	628,549,040	628,400,000	149,040	防衛庁調 達実施本 部	前金払の精算未了	
(項) 昭和34年度 潜水艦建造 費	462,700,000	0	462,700,000	同	同	
(項) 昭和35年度 潜水艦建造 費	604,157,714	350,500,000	253,657,714	同	同	
計	13,453,345,969	3,247,398,423	10,205,947,546			
合 計	22,413,957,601	4,755,690,989	17,658,266,612			

付表第 4 既往年度各特別会計決算未確認額表 (昭和 37 年 12 月 1 日現在)

年度、所管、会計名、歳出、項	前年度までの 未確認額 円	本年度確認額 円	未 確 認 残 額			
			金 額 円	証 明 庁	事	由 円
昭和 35 年度						
農 林 省						
漁船再保険 歳 出						
特殊保険 勘 定						
(項) 漁船特殊再保険費	7,875,000	0	7,875,000	水産庁 回答済調査中		

付表第 5 昭和 36 年度国税収納金整理資金受払計算書検査未完了額表

(昭和 37 年 12 月 1 日現在)

受 入、 款、 項	証 明 庁 金	額	事	由
受 入		円		円
(款) 歳入組入資金受入				
(項) 各 税 受 入 金	穂 町 ほか 3 税 務 署	243,190,240	質問に対する回答未 済 242,987,390 回答済調査中 202,850	

BZ

4

04



00011178

(大蔵省印刷局製造)